

令和8年第3回 区づくり推進横浜市議員会議



2027 中区制100周年



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会
2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

©Expo 2027

公式マスコットキャラクター トウシントウシ



目 次

議題1	令和7年度中区個性ある区づくり推進費決算状況	P1
議題2	令和7年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業実績	P5
	施策1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり	P10
	施策2 子どもから高齢者までともに支えあうまちづくり	P18
	施策3 多文化共生のまちづくり	P25
	施策4 地域の活力があふれるまちづくり	P27
	施策5 区民目線で行動する区役所づくり	P38
議題3	令和8年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行状況	P40
	施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり	P45
	施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり	P53
	施策3 多文化共生のまちづくり	P63
	施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり	P65
	＜施策実現に向けた行政運営＞	P73
議題4	令和9年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方（案）	P75
その他	その他	P76

議題1 令和7年度中区個性ある区づくり推進費決算状況

1 総括表

(単位：円)

予 算 区 分	予算額(A)	決算額(B)	差引(A－B)	執行率
(1) 自主企画事業費	101,887,000	100,335,932	1,551,068	98.5%
(2) 統合事務事業費	59,454,000	54,307,271	5,146,729	91.3%
(3) 区庁舎・区民利用施設 管理費※	489,450,000	491,535,897	▲2,085,897	100.4%
合 計	650,791,000	646,179,100	4,611,900	99.3%

※ 当初予算額 480,192,000円から、9,258,000円増額補正した数値

議題1 令和7年度中区個性ある区づくり推進費決算状況

2 内訳

(1) 自主企画事業費

(単位：千円)

施 策	予算額(A)	決算額(B)	差引(A－B)
1 安全・安心で健やかに暮らせる まちづくり (8事業)	19,968	19,145	823
2 子どもから高齢者までともに 支え合うまちづくり (7事業)	19,550	18,317	1,233
3 多文化共生のまちづくり (2事業)	13,652	13,550	102
4 地域の活力があふれる まちづくり (11事業)	28,515	25,881	2,634
5 区民目線で行動する 区役所づくり (2事業)	20,202	23,443	▲3,241
合 計	101,887	100,336	1,551

議題1 令和7年度中区個性ある区づくり推進費決算状況

2 内訳

(2) 統合事務事業費

(単位：千円)

施 策	予算額(A)	決算額(B)	差引(A－B)
統合事務費	43,288	37,934	5,354
統合事業費	16,166	16,373	▲207
合 計	59,454	54,307	5,147

議題1 令和7年度中区個性ある区づくり推進費決算状況

2 内訳

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

施 策	予算額(A)	決算額(B)	差引(A－B)
区庁舎等管理費	119,748	118,756	992
公会堂管理費	45,962	45,953	9
地区センター等管理費	119,929	119,893	36
ログハウス管理費	9,633	9,633	0
老人福祉センター等管理費	45,581	45,573	8
コミュニティハウス管理費	76,196	76,176	20
区スポーツセンター管理費	57,702	57,687	15
区庁舎・区民利用施設修繕費	2,646	5,915	△ 3,269
その他(国際交流ラウンジ・遊び場)	12,053	11,949	104
合 計	489,450	491,536	△ 2,086

議題 2

令和 7 年度中区個性ある区づくり推進費 自主企画事業実績

令和7年度 自主企画事業費一覧

(単位：千円)

NO.	事業名	予算額	決算額	差引	所管課	重点	頁
施策1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり							
1	地域防災力向上事業	8,999	8,531	468	総務課	★	9
2	安全なまち・防犯対策推進事業	2,364	2,341	23	地域振興課	★	10
3	交通安全啓発・放置自転車対策事業	2341	2,299	42	地域振興課		11
4	みらい環境育成事業	1,809	1,764	45	地域振興課		12
5	初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業	2,000	1,998	2	区政推進課		13
6	花・緑でまちの環境改善事業	500	500	0	中土木事務所		14
7	食と暮らしの安全・安心事業	1,238	1,068	170	生活衛生課		15
8	動物適正飼育推進事業	717	644	73	生活衛生課		16
小 計		19,968	19,145	823			

令和7年度 自主企画事業費一覧

(単位：千円)

NO.	事業名	予算額	決算額	差引	所管課	重点	頁
施策2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり							
1	中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業	5,910	5,391	519	福祉保健課	★	17
2	みんなの健康づくり事業	3,475	3,326	149	福祉保健課	★	18
3	地域包括ケアシステム推進事業	2,064	1,943	121	高齢・障害支援課	★	19
4	障害児・者ネットワーク支援事業	830	775	55	高齢・障害支援課		20
5	みんなで子育て事業	3,862	3,648	214	こども家庭支援課	★	21
6	みんなでサポート親子の笑顔事業	2,659	2,412	247	こども家庭支援課	★	22
7	なかくっこ すくすくサポート推進事業	750	822	△72	区政推進課 こども家庭支援課		23
小 計		19,550	18,317	1,233			
施策3 多文化共生のまちづくり							
1	多文化共生推進事業	5,409	5,509	△100	区政推進課	★	24
2	多文化交流事業	8,243	8,041	202	地域振興課		25
小 計		13,652	13, 550	102			

令和7年度 自主企画事業費一覧

(単位:千円)

NO.	事業名	予算額	決算額	差引	所管課	重点	頁
施策4 地域の活力があふれるまちづくり							
1	まちづくり推進事業	3,258	3,149	109	区政推進課		26
2	自治会町内会活動支援事業	3,205	3,138	67	地域振興課	★	27
3	みんながつながる地域づくり事業	1,185	823	362	地域振興課	★	28
4	商店街魅力アップ事業	3,425	2,788	637	地域振興課		29
5	インクルーシブスポーツ推進事業	2,295	2,164	131	地域振興課		30
6	スポーツ・青少年事業	3,340	3,182	158	地域振興課		31
7	区民活動支援事業	2,786	2,245	541	地域振興課		32
8	にぎわい・魅力アップ事業	4,830	4,816	14	地域振興課		33
9	都市間交流事業	671	258	413	総務課、区政推進課 地域振興課		34
10	中区制100周年(2027)記念事業	2,000	1,924	76	総務課、区政推進課 地域振興課	★	35
11	GREEN×EXPO 2027に向けた脱炭素チャレンジ事業	1,520	1,394	126	区政推進課	★	36
小 計		28,515	25,881	2,634			

令和7年度 自主企画事業費一覧

(単位：千円)

NO.	事業名	予算額	決算額	差引	所管課	重点	頁
施策5 区役所目線で行動する区役所づくり							
1	区役所サービス環境向上事業	15,823	19,612	△3,789	総務課	★	37
2	広報・案内事業	4,379	3,830	549	区政推進課		38
小 計		20,202	23,443	△3,241			
合 計		101,887	101,202	685			

※各数値は千円単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

施策1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

1 地域防災力向上事業

★重点事業



帰宅困難者対策訓練

中区防災計画に基づき、中区の防災力を向上させるため、区民の防災意識の向上、将来的な地域防災の担い手の育成、区防災体制の整備・強化に取り組みました。

区職員による防災講話やマンション防災アドバイザー派遣事業、各種広報等を通じて、区民の災害への備えを促しました。産官民合同で実施した帰宅困難者対策訓練や地域防災拠点訓練の実施、備品の充実等により、中区の防災力向上に寄与しました。

（1）減災行動啓発事業

ア 地域、企業、各種団体等への減災支援

(ア) 防災講話・防災訓練支援等の実施（162回、11,899名参加）

(イ) マンション防災アドバイザー派遣（9団体、22回）

イ 防災啓発

(ア) マリンFMでの防災情報発信(月1回)

(イ) オンライン防災講演会(8年3月 横浜市公式YouTube配信、543回再生)

(ウ) 即時避難指示対象区域へ早期の避難行動等の啓発（6か所・約120世帯）

（2）災害時の担い手育成事業

区内の学校を対象とした防災出前教室等（11校、1,951名参加）

（3）防災訓練・災害対策事業

ア 各種訓練の実施

(ア) 産官民合同の帰宅困難者対策訓練(12月11日、60団体120名参加)

(イ) 情報受伝達訓練(8年1月15日)

イ 地域防災拠点訓練の実施及び備蓄品の充実

クールタオル、はまっこトイレの新たな採水用具・固定器具等の配備

総務課

施策1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

2 安全なまち・防犯対策推進事業

地域振興課

★重点事業



加賀町防犯キャンペーン

「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となり、高齢者の被害が後を絶たない振り込め詐欺の防止や、近年増加している凶悪な強盗への対策など、地域の実情に応じた防犯対策に取り組みました。

(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業

中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援しました。

ア 総会の開催（5月15日）

イ 防犯キャンペーンの実施（6月3日、10月14日、10月17日）

ウ ハローよこはまへの出店（11月9日）

エ 4警察署、3防犯協会、防犯協力会と合同会議等（10月29日）

オ 地域自主防犯活動委員会の開催（各地区連防犯担当者会議 全5回）

(2) 中区地域防犯活動支援事業

ア 実施内容：防犯活動費支援、防犯活動物品の貸与を実施

新1年生への防犯ブザー配布（825個）

イ 対象団体：地区連合町内会、防犯活動団体、市立小学校

ウ 各警察署から寄せられる犯罪情報等を「中区安全・安心メール」で配信（年間26回）

(3) 防犯教室・講座事業

地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施しました。

こども防犯教室（全9回）、寄席de防犯（8年2月25日 約100名参加）

施策1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

3 交通安全啓発・放置自転車対策事業

地域振興課

R7年度予算

2,341千円

R7年度決算

2,299千円



小学生の「はまっ子交通安全教室」

区内で発生する高齢者や自転車の交通事故防止及び自転車・バイクの放置防止を推進するため、各警察署、各交通安全協会、地域の関係団体と連携したキャンペーン等の啓発活動に取り組みました。

(1) 交通安全啓発事業

ア 中区交通安全対策協議会への支援

イ 子どもの交通安全啓発

(ア) 小学生の交通安全教室開催（市立小学校9校 4月～10月）

(イ) 小学生向け「サイクルルールブック」等啓発パンフレット配布（700部）

(ウ) スクールゾーン対策の実施（6月～8年3月）

(I) 中区交通安全こどもポスターコンクール開催（応募108作品 7月～12月）

(I) 中学生の交通安全教室開催（市立中学校2校、7月）

ウ 保護者向け交通ルール啓発リーフレット配布（3,900部、4月～8年3月）

エ 地域と連携した高齢者等の交通安全啓発

オ 交通安全運動への協力

カ 団体への補助金交付（5月～6月）

・各スクールゾーン対策協議会（10団体）、中区交通安全対策協議会

(2) 放置自転車対策事業

ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援

イ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び移動要望への対応

施策1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

4 みらい環境育成事業

地域振興課

R7年度予算

1,809千円

R7年度決算

1,764千円



本牧クリーンアップDAY!

一般廃棄物処理基本計画【ヨコハマプラ5.3 計画】の目標である、「燃やすごみに含まれるプラスチックごみの量を2030年度までに2万トン削減」の達成に向け、区民・事業者・行政が協働し、削減に取り組みました。

また、SDGsの達成に向け、食品ロスや海洋プラスチックごみの削減に取り組みました。

(1) ヨコハマプラ5.3計画推進活動

ア イベント参加（年2回）、店頭啓発（6月）、分別相談窓口（5回）

イ 資源回収BOX（インクカートリッジ回収6回、水銀含有製品回収100個）、リユース文庫(5,175冊)による減量化・資源化

ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業の実施（7団体）

エ フードドライブ活動の実施（550点）

(2) まちの美化対策事業

ア 中区クリーンアップDAY！2025を実施（5月31日 約400名参加）

本牧クリーンアップDAY！を実施（8年1月31日 約100名参加）

イ 中華街クリーンアップを実施（年8回）・学校との連携（年5回）

ウ 不法投棄防止に係る啓発（随時）

エ 外国人向けの分別説明会を実施（12月4、11日）

オ まちの美化に取り組む自治会や団体等の活動支援（10団体）

(3) 美化推進者表彰

まちの美化推進及び3R行動の推進に功績があった個人・団体へ区長感謝状の贈呈（8年3月19日 個人9名、団体9団体、区長特別表彰1団体）

施策1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

5 初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業

区政推進課



防犯パトロール

R7年度予算

2,000千円

R7年度決算

1,998千円

まちの再生に向けた地域の自主的なまちづくり活動を推進するため、関係局と連携しながら、地元協議会の活動に対する補助やまちづくりNPO法人を通じた支援を行いました。

また、まちの活性化には更なる活動の参画者・担い手を増やしてことが重要であるため、地域やアーティストと連携し、子どもが防犯パトロールやアート制作に挑戦する取組や、大岡川周辺の環境改善など、各テーマに沿ったまちづくり活動を行いました。

(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助

ア 協議会定例会等の開催（総会 1 回、定例会 5 回、役員会 6 回）

イ 防犯啓発活動等の実施

（防犯パトロール 12回、防災炊出し訓練 10月12日、清掃活動等）

ウ 広報活動

（まちづくりニュースの発行 4 回）

(2) 地域活動を支える運営組織の強化

ア 協議会活動の企画、運営手法の強化

(ア) 協議会役員会、協議会定例会及び協議会総会の運営支援等

(イ) まちづくりに関するイベント、ワークショップ等の企画立案

（はつこひトーク 9月28日、サイン計画の企画調整 8 回、

春節ランタン作りワークショップ 8 年 2 月、Made IN Azuma 8 年 3 月）

(ウ) 地域住民、行政、企業等によるまちづくり勉強会における意見交換

イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援

（はつこひ市場 延べ 5 日開催 延べ 17,277 名参加）

施策1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

6 花・緑でまちの環境改善事業

中土木事務所



公園愛護会・保育園と行った花植え

R7年度予算

500千円

R7年度決算

500千円

自治会、公園愛護会など区民の皆様と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで違法駐輪や不法投棄等を防止するための環境整備を行いました。また、脱炭素社会の形成、地球温暖化対策の普及啓発を目的とした、区内の小学校等への花緑のカーテンの設置、園芸講習会の開催を継続しました。

さらに、横浜グリーンエキスポの機運醸成とPRを目的として、従来の種まきイベントを開催しました。

(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策事業

ア 花苗提供 2,000株

イ プランター設置・維持管理

(9か所 本牧埠頭交番前、大和町、柏葉公園、長者町(長者町5丁目交差点付近)、山手駅、開港広場公園、竹之丸(竹之丸保育園付近)、鷺山公園、福富町西公園)

ウ 花緑のカーテン設置

(4か所 横浜訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所、中区役所)

エ 種まきイベント(春・秋)

(6か所 錦保育園、山手保育園、太陽の子 不動下保育園
横濱中華幼保園、保育園ばんびーな、竹之丸保育園)

(2) 普及啓発事業

園芸講習会

寄せ植え講習会(3月5日 2回 35名参加)

施策1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

7 食と暮らしの安全・安心事業

生活衛生課

R7年度予算
1,238千円
R7年度決算
1,068千円



監視指導時に配布する中国語チラシ

食中毒等の健康被害の予防及び拡大・再発防止を図り、区民の暮らしの安全・安心を確保するため、食品取扱施設、環境衛生関係施設等の生活衛生関係施設に対する監視指導や、事業者・消費者に対する衛生教育、情報発信を行いました。

(1) 生活衛生関係施設の衛生確保支援事業

ア 生活衛生関係施設の衛生対策を行いました。

(ア) 中華街やホテル等に対し、清浄度を確認できる検査キットを活用した指導や、各種チラシを用いた啓発等によりHACCP※の導入を推進しました。

監視指導件数：約4,500件（うち中華街一斉監視：約200件）

※HACCP:食品の安全を確保するための国際的な衛生管理手法

(イ) 大規模イベント等での食品提供について、食品の衛生的な取扱いを指導しました（418回）。

(ウ) 食肉を取り扱う飲食店等に対し、科学的根拠に基づく十分な加熱調理を行うよう周知・啓発を行いました。

イ 高齢者や乳幼児等の健康リスクの高い方が利用する施設に対し、ノロウイルスやレジオネラ症等の感染症予防の啓発をしました（127件）。

(2) 暮らしの安全に関する情報発信事業

ア 感染症や衛生害虫対策に関する講習会を開催し、区民や自治会、事業者に向けて健康被害を予防するための注意喚起を行いました（26回、約1,000名）。

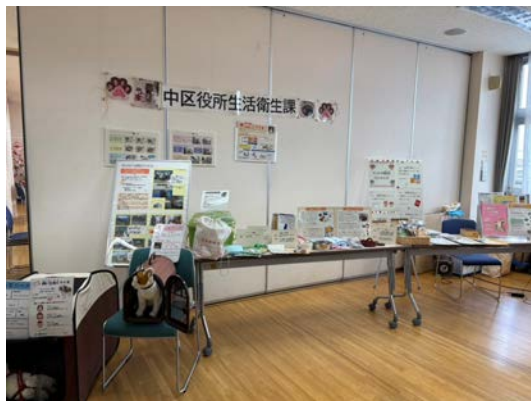
イ 広報よこはまやパネル展などを利用し、幅広い年代の区民への啓発を行いました。（5月号（ハチ・蚊）、7月号（食中毒、トコジラミ）、11月号（感染症対策）、12月号（肉の低温調理、ネズミ））

ウ 消費者を対象とした食中毒予防キャンペーンを客船飛鳥Ⅱのキッズツアー（8月9日 40組80名参加）やハローよこはま（11月9日 200名参加）で実施しました。

施策1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

8 動物適正飼育推進事業

生活衛生課



イベント会場でのペット災害対策啓発

R7年度予算

717千円

R7年度決算

644千円

ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育に関する啓発を実施し、事故やトラブルの防止に取り組みました。

また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時ペット対策の啓発や取組支援、飼い主への日頃の準備等の啓発を実施しました。

(1) 動物適正飼育推進事業

ア 狂犬病予防注射出張会場において、中区獣医師会と連携して、犬の飼い主の啓発を実施しました（4月 3会場 221頭）。

イ ハローよこはま等のイベントに参加し、中区獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携して、来場者への啓発を実施しました。

（9月、11月、12月、8年1月、8年2月）

ウ 犬の放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携し、散歩中の飼い主に対する啓発、指導を実施しました。

エ 区民が飼い主のいない猫対策として実施する地域猫活動に対し、機材の貸出し等の支援を行いました（4回 5台）。

(2) 災害時ペット対策推進事業

ア 地域防災拠点の拠点訓練等においてペット同行避難に関する展示や同行避難訓練の推進に向けた提案を行いました(4拠点)。

イ ペット同行避難の検討に既に取り組んでいる地域防災拠点のペット受入マニュアル等の成果物を参考に、ホームページ等での啓発、ペット避難所開設キットの配備を行いました（5拠点に配備）。

施策2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

1 中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業

福祉保健課

★重点事業



令和7年度 中なかいいネ！発表会

R7年度予算

5,910千円

R7年度決算

5,391千円

誰もが安心して健やかに暮らせるまちを目指して、第5期計画の区計画及び13地区の地区別計画を策定しました。区計画は区民意見募集を通じて多くの意見を取り入れ、地区別計画は地区別推進会議等を通じて地域が主体となってまとめました。

また2月には、計画のお披露目会として「中なかいいネ！発表会」を開催し、13地区の代表者が地区別計画や取組を発表し周知を図りました。さらに3月には、キックオフとして「中なかいいネ！推進会議」を開催し、計画推進の機運を高めました。

(1) 第5期計画（令和8～12年度）策定

- ア 区計画と13の地区別計画の策定（8年2月）
計画冊子（800部）、地区別計画リーフレット（13地区 各2,000部）、概要版リーフレット（19,000部）
- イ 区計画素案への区民意見募集（10～11月）
意見総数 558件（応募者総数：239名）
意見対応分類 計画に反映21件、素案に賛同277件、計画推進時に参考179件、個別の施策・課題に関するもの71件、その他10件

(2) 中なかいいネ！推進会議

- ア 中なかいいネ！推進会議（3回 6月、10月（書面開催）、8年3月）
- イ 事務局会議（毎月）、チーム会議（13地区延べ83回）

(3) 計画PR・魅力発信

- ア 広報よこはまへの掲載（5月、7月、10月、11月、8年1月、4月特集号）
- イ 計画推進月間パネル展示（7月）、PRグッズの作成（7月～）
- ウ 中なかいいネ！発表会（8年2月 232名来場）

(4) 推進会議・人材育成

- ア 地区別推進会議（13地区 延べ51回）※地域住民を含めた会議
- イ 地域支援合同研修（5月）、地域支援従事者研修（6月）
※区、区社協、ケアプラザ職員向け研修

(5) 中なかいいネ！見守りキーホルダー（182千円）

- キーホルダー作成（8年2月 750個）、マグネット作成（8年3月 1,200枚）

施策2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

2 みんなの健康づくり事業

福祉保健課

★重点事業



ナイトウォーキング出発前

R7年度予算
3,475千円
R7年度決算
3,326千円

生活習慣病予防に向け「子育て・働き世代（成人・壮年期）」を対象に、対象者が集まる場に積極的に専門職が出向き、情報提供やアドバイスを行い、区民や区内在勤者が健康づくりを実践できる環境づくりに取り組みました。

また、区民意識調査で関心が高い防災分野の取組の一つとして、災害に備えた健康支援に関する情報提供を様々な機会を実施しました。

(1) 子育て家庭のヘルスアップ事業

乳幼児健診会場等（年15回 計324名参加）や歯ぴか教室（年8回 計120名参加）では、参加しやすい会場・曜日を工夫し、健康を見直すきっかけづくりとして親向けの健康チェックを合わせて実施しました。

(2) 働き世代のヘルスアップ事業

ア ナイトウォーキングをマリントワーと連携して実施（9月 34名参加）
イ 集客イベントにおいて出張講座・健康チェックを実施（年5回 計624名参加）
ウ 「てくてくウォークガイドブック」の改訂
保健活動推進員が全コースを歩いて把握した最新の見どころ情報を反映した内容にしました。改訂（4月 2,000部）、増刷（11月 2,000部）

(3) 災害に備えた健康づくり事業

ア 災害に備えたリーフレットを作成
・感染症対策、お口の健康、ローリングストック（各1,500部 計4,500部）
・同内容のやさしい日本語版（各200部 計600部）
イ 専門職が地域の健康づくり・子育て支援事業、各種健診やイベント等にて出前講座などによる普及・啓発を実施。（29回）

(4) 食育推進事業

食育イベント（年2回 計122名参加）、研修・パネル展示（10月 46名参加）実施

(5) 中区健康づくり月間事業（元氣フェスタ21事業）

ハローよこはま2025にて元氣フェスタ21開催（4,378名参加）

施策2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

3 地域包括ケアシステム推進事業

高齢・障害支援課

★重点事業



認知症体験型研修

R7年度予算

2,064千円

R7年度決算

1,943千円

「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区アクションプラン」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症に優しい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めました。

(1) 高齢者の地域交流促進

老人クラブの活動充実に向けた各種行事の開催支援や、地域の交流・介護予防活動の支援を行いました。

ア 行事の補助・開催支援

グラウンドゴルフ大会（5月 59名参加、10月 53名参加）、ノルディックウォーキング（5回 計47名参加）、老人福祉大会（9月 258名参加）、ふれあい運動会（12月 368名参加）等

イ 老人クラブへの加入促進グッズのイベント・窓口等での配布
加入促進チラシ（10,000部）、新規加入者用グッズ（1,000個）

(2) 介護予防事業

高齢者が自分の健康状態に関心を持ち、積極的にフレイル予防に取り組む機会を増やしました。

ア フレイル予防イベントの開催（7月 50名参加）

イ 体力測定会の開催（5回 計126名参加）

(3) 認知症支援事業

ア 認知症高齢者等の介護者を対象とした、臨床心理士による個別相談の実施（18回利用者のべ29人）

イ 認知症キャラバン・メイト連絡会の開催（6月 7名参加、1月 5名参加）

ウ 認知症サポーター企業等認証事業の推進（新規4事業所 計87事業所）

エ 認知症体験型研修の開催（10月 26名参加、11月 19名参加）

施策2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

4 障害児・者ネットワーク支援事業

高齢・障害支援課



ポレポレグッズ販売会 製品カタログ

R7年度予算

830千円

R7年度決算

775千円

障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制をつくりました。区民の障害理解を高めるため、様々な手法で情報発信に取り組みました。

(1) 関係機関連携推進事業

相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される支援体制を充実させました。

ア 自立支援協議会の開催（事務局会議 10回、専門部会 34回）

イ 支援者のスキルアップや連携強化を目的とする研修会の開催
権利擁護研修（5月）、児童部会主催研修（6月、2月）、精神部会主催研修（10月）

ウ 中区福祉事業所合同説明会の開催（12月 95名参加）

(2) 障害理解・販路拡大推進事業

ア 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会事業運営費の補助

イ 販路拡大委員会（隔月6回）、ナカナ・カフェ運営委員会の開催支援（4回）

ウ 区役所内定期販売会の支援（12回）、中区SDGsマルシェでの販売支援（12回）、ほか各種行事等への出店支援

エ プロスポーツチームと連携した横浜武道館等でのポレポレグッズの販売（5回）

オ 障害者週間の区役所販売及び事業所紹介パネルの展示（12月）

施策2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

5 みんなで子育て事業

こども家庭支援課

★重点事業



ピースフルファミリー事業の様子

R7年度予算

3,862千円

R7年度決算

3,648千円

子育て中の方が育児不安や孤立感を軽減し、身近な地域で安心して子育てできるよう、地域全体で子育てができる環境づくりに取り組みました。

社会状況の変化も踏まえ、父親も含めた子育て家庭全体への支援を進めました。

中区は外国籍住民の割合が市内で突出して高いため、多言語での情報発信を拡充しました。

(1) ピースフルファミリー事業

スポーツ体験や親子のふれあい遊びを通して家族皆で交流できるイベントや、子育て講座を実施し、親子のコミュニケーション及び家族間のコミュニケーションを学ぶ機会を提供しました。(年3回 8月・10月・12月 計100名参加)

(2) おでかけスポットマップ

子育て家庭が安心して楽しく地域の方と交流できるよう、区内の子育て支援施設等の情報をまとめたマップを作成しました。(3,500部 8年3月配布)

(3) 保護者向け保育所等情報提供

保育申請の方法や保育所等の情報等を紹介する「中区保育所等のしおり」を作成し、認可保育所、地域ケアプラザ等で配布しました。(10月 3,500部)

(4) 母子手帳交付時の説明動画作成

母子手帳交付時に行う説明動画を、英語・中国語の字幕を付けた外国語版もあわせて新たに作成しました。(10月から配信)

(5) 外国人向け両親教室

外国語を母語とする方にとって、日本での妊娠、出産、子育ての不安の軽減につながるよう、必要な情報を新たに多言語で作成しました。(中国語版：5月から配信、英語版：8月から配信)

(6) 中国語窓口案内補助

各種手続等に対応するため、窓口到中国語通訳を配置しました。(週2回配置、8年3月末通訳件数448件)

施策2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

6 みんなでサポート親子の笑顔事業

こども家庭支援課

★重点事業



赤ちゃん学級の様子

R7年度予算

2,659千円

R7年度決算

2,412千円

安心して子育てができるよう地域の見守る力を高めます。また、子どもや保護者が相談しやすい環境を整え、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供しました。

子どもの安心・安全な生活のため、子どもに関わる支援者の専門性向上に取り組みました。

子ども自身によるSOS発信や、周囲の人による不適切養育の早期把握ができるよう啓発しました。

(1) 児童虐待対応力向上事業

区職員を対象にスーパーバイザーによる講義やセルフコーチング研修を実施しました（9月、1月）。また、有識者から児童虐待事例検討や、効果的な介入方法（面接技法）等を学びました。（全6回 計56名参加）

(2) 学齢期家庭向け支援事業

児童虐待防止啓発物として、クリアファイルを区内すべての公立及び私立学校（小学4～中学3年生）へ配布しました（計8,381部 7月配布）。虐待予防及び虐待の早期介入と支援につなげるために、駅頭でのデジタルサイネージへの啓発動画配信（通年）と自治会へのちらし配布（800部）を実施しました。

(3) 育児を学ぶ教室・講座

親子ヨガ教室を開催し、乳児との触れ合いを通して、養育者の育児不安を軽減し、孤立を予防しました。（12回 計144名参加）

(4) 赤ちゃん学級

生後1歳までの子どもの養育者を対象に、子育ての仲間づくりや子育ての知識を得られる教室を身近な場所で開催しました。（70回 計1,005名参加）

(5) 乳幼児健診の充実に関する事業

乳幼児健診に保育ボランティア等を配置しました。（年47回）

(6) 相談業務強化事業

各種手続・相談等に丁寧に対応するために相談員を配置しました。（週1回配置）

施策2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

7 なかくっこ すくすくサポート推進事業

区政推進課・こども家庭支援課



なかくっこ自由研究大作戦2025

R7年度予算

750千円

R7年度決算

822千円

横浜市中期計画の基本戦略の実現に向け、令和5年度から中区各課の子ども・子育てに関する取組を「なかくっこすくすくサポート」としてまとめて推進しています。各課や区内事業者の企画を小学生向け夏休み自由研究の題材として提供する「なかくっこ自由研究大作戦」のほか、令和6年度から区全域の子育て支援者の横のつながりを強化する「子ども・子育て支援ネットワーク推進事業」を実施しました。

(1) なかくっこ自由研究大作戦2025

リーフレットを私立学校等を含む区内外の小学校に広く配布し、新たに「消防」や「eスポーツ」、「看護」等のジャンルの題材を拡充して実施しました。
(7月～8月 計23題材、保護者・児童含め 1,153名参加)

(2) 子ども・子育て支援ネットワーク推進事業

子どもが健やかに成長し子育て家庭を支える地域づくりのために、令和4年度から子育て支援ネットワークづくりに取り組んでいます。地域の実情に応じた取組や課題を地区別連絡会で検討し、地区や区全体でできることや必要な支援や連携について話し合う場として全体会を開催しました。

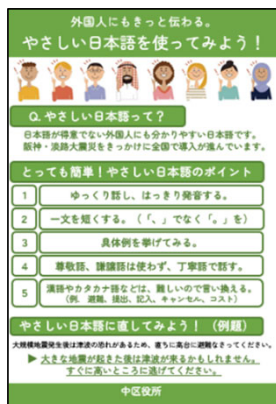
- ・子育て支援ネットワーク地区別連絡会（7地区 54回開催）
- ・子育て支援ネットワーク全体会（11月14日 47名参加）
- ・子育て支援ネットワーク連絡会代表者会（3回開催）

施策3 多文化共生のまちづくり

1 多文化共生推進事業

★重点事業

R7年度予算
5,409千円
R7年度決算
5,509千円



やさしい日本語クリアファイル

「中区多文化共生推進アクションプラン」に基づき、国籍やルーツによらず、誰もが地域の一員として、安心して自分らしく暮らせる多文化共生のまちづくりを進めました。

令和7年度はアクションプランを改訂し、新たに「ちがいが力になるまち、中区」をビジョンに据えた「第3期中区多文化共生推進アクションプラン」を策定しました。

(1) 中区多文化共生推進アクションプラン推進事業

地域住民に対し、講座を通じて「やさしい日本語」の啓発を行いました。
ア 地域住民・区職員向け「やさしい日本語講座」(8年3月 計20名参加)
イ やさしい日本語クリアファイルによる地域啓発(5月～8年3月 計5回のイベント・研修にて配布、計1,090部)

(2) 多言語広報紙発行事業

中区在住の外国人住民に役立つ生活情報や行政情報等を掲載した広報紙を、英語、中国語、日本語で発行しました。(年4回 英・中:約4,000部/回、日:約1,000部/回)

(3) 多言語ホームページ運営事業

広報よこはま掲載情報や生活情報等を、英語、中国語、ハングル、やさしい日本語で発信しました。(月1～2回)

(4) 外国人情報発信スポット拡充事業

石川町駅、山手駅周辺のコンビニ等の計5か所のスポットに新規掲示(合計52か所)。

(5) 第3期中区多文化共生推進アクションプラン策定事業

11月～12月 素案の区民意見募集(意見数:13件)
8年2月 記者発表(全体版、概要版(やさしい日本語))
8年3月 多言語版作成(英語、中国語、ハングル、ネパール語)、
区庁舎、市民情報センター、なか国際交流ラウンジに配架、
区内の日本語学校や、自治会・町内会等に配布

区政推進課

施策3 多文化共生のまちづくり

2 多文化交流事業

地域振興課



日本語教室の様子

R7年度予算
8,243千円
R7年度決算
8,041千円

なか国際交流ラウンジを拠点に、地域の活動団体や学校、関係機関等との連携を図り、外国人住民への生活情報の提供、日本語学習支援、地域参加への促進、外国人人材の育成を通じて多文化共生の地域づくりを進めました。

(1) 地域との連携・多文化共生ボランティア等の人材育成

- ア 地域連携コーディネーターによる地域の会議への参加（10回）
- イ 中学生対象の学習支援（40回）・外国につながる若者の居場所「Rainbowスペース」での交流や表現活動（39回）など若者自らの企画運営を支援
- ウ 多文化共生ボランティア養成講座（8回、計64名参加）
- エ ボランティア日本語教室連絡会（2回、9団体参加）

(2) 日本語学習支援事業

- ア はじめて教室：来日間もない方向け（10回×6期、各期6名参加）
- イ 定期教室：入門・初級レベルの方向け（30回×2期、各期20名参加）

(3) 多文化共生推進事業

- ア 多文化理解講座等の実施（11回）
- イ 多文化フェスタの開催（12月、約560名参加）

(4) 多文化共生ボランティア活用事業

- 町内会のイベント等にボランティアを派遣し、通訳やチラシ翻訳等（48件）

(5) 区が発信するチラシ・案内等の翻訳の実施

- 福祉保健課、保険年金課、こども家庭支援課他（23件）

施策4 地域の活力があふれるまちづくり

1 まちづくり推進事業

区政推進課



自治会・町内会等を対象とした防災講座

R7年度予算
3,258千円
R7年度決算
3,149千円

区民等のまちづくり活動を支援し、様々な地域資源を活用する、地域主体のまちづくりの支援を進めました。

その一つとして、道路等の公共空間を活用した、地域の活性化につなげるまちづくりの検討を進めました。

また、区内の回遊機会創出と、景観意識の向上、区民の地域への愛着を育むため、歴史的建造物等を活用したカードを作成・配布しました。

(1) 地域まちづくり活性化事業

ア まちづくり計画検討調査

歩行者利便増進道路制度（ほこみち）について、制度活用の検討の参考にするため、他地区の事例収集やヒアリング調査を実施しました。

イ まちづくり団体のルール運用・新規ルールづくり等の支援

(ア) 定例会出席等による支援

（中華街 11回、本郷町 3丁目 7回、鷺山・竹之丸 11回）

(イ) まちづくり活動の普及啓発

（自治会・町内会等を対象とした防災講座 11月25日 22名参加）

(2) 歴史的建造物等活用事業

幅広い世代を対象に歴史的建造物等をより深く、よりわかりやすく伝えるとともに、回遊してもらうことを目的に、「れきけんカード」の作成を進めました。

（対象施設 10施設、印刷枚数 各施設3,000枚、8年3月13日配布開始）

(3) よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図活用事業

戦後80年の節目に平和の大切さと歴史の継承を考える講座「平和祈念碑が語る横浜大空襲の記憶」を実施し、碑もとく絵地図に掲載している平和記念碑を見学しました。（12月11日 14名参加）

施策4 地域の活力があふれるまちづくり

2 自治会町内会活動支援事業

地域振興課

★重点事業



自治会町内会長感謝会

R7年度予算

3,205千円

R7年度決算

3,138千円

市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携・協力関係を深めました。

自治会町内会への加入を促すとともに、暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援しました。

(1) 自治会町内会加入促進

新規建築マンション建設予定地を区域に含む自治会町内会に、建築情報を提供する等、新たな自治会町内会設立・加入への動きを支援しました。（9件情報提供）また、広報よこはま3月号でも加入促進を呼びかけました。

(2) 掲示板整備補助事業

地域住民の福祉の向上等を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助しました。（補助件数 11件）

(3) 自治会町内会長感謝会

市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表するため、表彰式・感謝会を開催しました。（3月4日開催 14名表彰、82名参加）

(4) 自治会町内会活動支援

自治会町内会実務担当者向け研修会や区連会定例会等を通じ、自治会町内会の活動を支援しました。（研修会 2回実施 計68名参加）

(5) 学生連携事業

関東学院大学の学生の地域イベント等への参加を促し、若者の参加減少や将来の担い手不足など地域が抱える課題解決の手がかりを探り、自治会町内会活動等の活性化に取り組みました。（地域イベント出展2回 年間36名参加）

施策4 地域の活力があふれるまちづくり

3 みんながつながる地域づくり事業

地域振興課

★重点事業



補助金を活用した花いっぱい運動（第2地区連合）

R7年度予算

1,185千円

R7年度決算

823千円

自治会町内会をはじめとする地域の多様な主体が連携・協働して取り組む、地域課題の解決や地域の魅力の創出、多世代・多文化交流の促進等の活動を支援することで、地域活動の活性化、区民の地域参加の促進、地域づくりを支える人材の発掘・育成を推進しました。

地域と区民活動センター・国際交流ラウンジとの連携を強化し地域を支援しました。

(1) 地域活性化とまちの賑わいづくり支援事業

地域活動の継続・発展を支援するため、自治会町内会等が実施する事業に対して補助金を交付しました。

また、多世代・多文化が共生する中区の特性を踏まえ、地域活動に関する理解を深める機会として、区民向け講座を実施しました。

さらに、地域で行われているさまざまな取組を取材し、情報紙「Lale（ラーレ）」を通じて広く周知しました。

ア みんながつながる地域づくり補助金（補助件数11件）

イ つながりの種まき講座「みんなで多文化共生の地域づくり」開催
多文化共生の地域づくりを学び、地域課題を共有しました。
（8年2月27日 51名参加）

ウ 地域の広報サポート「Lale（ラーレ）」（創刊号ほか8回発行）

(2) 地域運営力向上サポート事業

地域の課題や魅力づくりをテーマとした勉強会などに対して、講師等の選定・謝金の助成を行ないました。（補助件数10件）

施策4 地域の活力があふれるまちづくり

4 商店街魅力アップ事業

地域振興課



コミュニティFM放送

R7年度予算

3,425千円

R7年度決算

2,788千円

地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題としてとらえ、商店街活性化に向けた支援を行いました。

(1)商店街広報活動事業

地域と密着した地元メディア（FM放送局、地域情報紙）を活用して商店街の魅力やイベント情報等を発信し、地域での消費促進に向けた広報を行いました。

- ・地元コミュニティFMによる商店街PR番組「ただいま商店街！」を実施（年20回 6月～8月3月）
- ・地域情報紙のホームページに商店街の情報を掲載

(2)SDGS商店街プロジェクト事業

- ・小学校（2校）での講演

<参考> 経済局区配付予算

商店街活性化イベント補助金：商店街等の活性化イベントに対して、1団体25万円を上限に補助を行いました。

施策4 地域の活力があふれるまちづくり

5 インクルーシブスポーツ推進事業

地域振興課

R7年度予算

2,295千円

R7年度決算

2,164千円



インクルーシブスポーツ体験会

年齢、性別、国籍、障害の有無等に関わらず、誰もが楽しめるインクルーシブスポーツを推進することで、地域社会で生活する人々の交流の場をつくり、地域活性化と健康増進を図りました。

また、幅広い参加者が、時間、場所、経験等を共有しスポーツを楽しむことで、誰もがお互いを尊重し合い、健康にいきいきと暮らすことができる共生社会への機運を醸成しました。

(1) インクルーシブスポーツ推進事業

ア 体験できる場の提供

(ア) インクルーシブスポーツ体験会の開催（6月1日 来場者1,200名）

(イ) 区内イベントにおける体験ブースの設置

（ポレポレまつり（10月25日）、中区民祭り（11月9日））

イ 交流大会の開催

ボッチャ交流大会を開催し、インクルーシブスポーツの魅力を発信

（8年3月7日 参加者84名）

施策4 地域の活力があふれるまちづくり

6 スポーツ・青少年事業

地域振興課

R7年度予算

3,340千円

R7年度決算

3,182千円



YC&AC中区キッズフットサル大会

地域のスポーツ振興や健康づくり、青少年の健全育成に寄与するため、スポーツ・青少年関連団体や、中区を拠点に活動するプロスポーツチーム等と連携した事業を展開し、元気な地域づくりを実現しました。

(1) 区民スポーツ促進事業

区スポーツ協会への事業費補助ほか活動支援、横浜マラソンに向けたランニングクリニック（4月13日、20日 各20名参加）、ラジオ体操指導者講習会の開催（6月21日 23名参加）

(2) プロスポーツチーム等との連携事業

プロスポーツチーム等と連携し、スポーツに親しみ、運動意欲を高める事業を実施（中区民祭りにおけるスポーツ体験コーナー（11月9日）、中区ラグビー教室（8年1月31日 38名参加）、学校への出前授業等）

(3) 青少年育成事業

地域の団体・企業と連携し、青少年の交流促進や体験イベントを実施（中区ダンスフェスティバル（7月20日）、なかくっ子フェスティバル（8年2月8日 150名参加）、小学生フットサル大会（8年1月25日 8チーム参加、3月8日 7チーム参加）等）

(4) 中区文明開化ウォークラリー

街並再発見と健康づくりを目的に、青少年指導員・スポーツ推進委員と協働し区内を巡るウォークラリーを開催（6月1日 100組304名参加）

施策4 地域の活力があふれるまちづくり

7 区民活動支援事業

地域振興課

R7年度予算
2,786千円
R7年度決算
2,245千円



なか区民活動センター祭りの様子

なか区民活動センター運営を通じて、地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指し、区民主体の地域活動や生涯学習を支援しました。

地域のボランティア人材の活躍支援や、区民が企画する講座の実施支援など、地域で活動する人材の発掘及び育成を推進しました。

また、中区読書活動推進目標に基づき地域の施設や団体、民間事業者等と協働して区全体で読書活動を推進しました。

(1) 区民活動支援事業（区民活動センター）

ア 活動団体・区民利用施設と連携した人材育成・市民活動支援事業

(ア) 活動団体や街の先生※の作品展・ワークショップ（5月 フラワー＆グリーンフェスタ 696名）※街の先生：個人や団体の知識や技術を地域に活かすボランティア

(イ) なか区民活動センター祭り（11月 800名）

(ウ) 活動団体との連携講座（6回 計104名参加）、区民利用施設との連携講座（5回 計341名）、活動団体の課題解決に向けた支援講座（1回 15名）

イ 情報提供・発信事業

(ア) 情報誌の発行（隔月）、なかく街の先生紹介ガイド発行（8年3月）

(イ) 区民利用施設等のチラシを一括発送する広報支援（月2回）

(2) 生涯学習支援事業

ア 人材育成講座「区民企画型養成講座」（全4回 10名参加）・「実践講座～中華街の秘密ズボラ薬膳で整う～」（1回 14名参加）

イ 街歩き講座「中区タウンピクニック」（年3回 企画運営者15名参加）

(3) 読書活動推進事業

ア 施設等と連携した「なか区ブックフェスタ」（11～12月 25団体）

イ 読書啓発イベント「本活コミュニケーション」（11月15日 50名参加）

<参考> なか国際交流ラウンジでの電子書籍閲覧サービス提供（常時）

施策4 地域の活力があふれるまちづくり

8 にぎわい・魅力アップ事業

地域振興課



中区民祭り「ハローよこはま2025」

R7年度予算

4,830千円

R7年度決算

4,816千円

中区民の交流と調和による地域連携の醸成と、区民の健康増進を目的に中区民祭り「ハローよこはま2025」を開催しました。

また、地域への愛着や誇り、ふるさと意識の醸成を図ることを目的に「中区って『イイネ!』フォトコンテスト」を実施しました。

(1)中区民祭り「ハローよこはま2025」

区内在住・在勤・在学者が幅広く参加できるイベントとして、地域団体等の連携を深めるとともに、中区制100周年や横浜グリーンエクスポに向けた機運醸成を図り、中区の魅力を発信しました。

ア 開催実績

日程：11月9日 午前10時～午後4時

会場：象の鼻パーク

来場者数：約64,000名

参加者：ブース出店94団体、ステージ出演12団体

(2)中区って「イイネ!」フォトコンテスト2025

観光マップでは見ることができない、「私のまちにある」「私のまちから見える」行事や風景、地域活動の様子など、中区の魅力を捉えた写真を募集しました。また、入賞作品の展示等を行い、中区の魅力を積極的にPRしました。

ア 開催実績

募集期間：7月1日～8年1月16日

応募作品：219点

表彰式：8年3月12日

施策4 地域の活力があふれるまちづくり

9 都市間交流事業

区政推進課・総務課・地域振興課

R7年度予算

671千円

R7年度決算

258千円



飯能新緑ツーデーマーチ

他都市と交流を進め、中区の魅力を発信しました。

横浜グリーンエキスポをはじめ、横浜のシティプロモーションの推進等を図るとともに、中区の魅力を再発見やふるさと意識の醸成につなげました。

(1) 埼玉県飯能市

両都市で行われる地域イベントへの参加及び広報紙やSNS等を通じた相互PRに取り組みました。

ア 飯能新緑ツーデーマーチへの参加（5月24日）

イ 飯能まつり（11月2日）・中区民祭り（11月9日）にて協議会ブースを出展

ウ 協議会（5月、8月、8年1月）及び代表者会議（8年2月）の実施

(2) 群馬県嬬恋村：友好交流協定（平成28年2月締結）

ア 嬬恋村中居屋重兵衛顕彰会の中区役所訪問（5月20日 20名）

イ 中区民祭りにて、嬬恋村がPRブースを出展（11月9日）

ウ 嬬恋村文化祭での「中区って『イイネ!』フォトコンテスト2024」の金賞作品の展示（11月8日、9日）

※上記のほか、山形県米沢市、沖縄県宜野湾市と交流を行いました。

施策4 地域の活力があふれるまちづくり

10 中区制100周年(2027)記念事業

総務課・区政推進課・地域振興課

★重点事業



キャッチフレーズ及びロゴマーク

R7年度予算
2,000千円
R7年度決算
1,924千円

令和9年の区制100周年に向け、令和7年3月に「中区制100周年記念事業実行委員会」を設立しました。区民の皆様と中区の価値を改めて確認し、地域愛を醸成し、さらに中区をPRし、持続的なまちづくりにつなげていきます。区を挙げた庁内外への機運醸成を図るため、記念行事等の実施、広報・プロモーション活動、関係イベント等の事業を行いました。

また、同年開催される横浜グリーンエキスポの機運醸成も同時に進めました。

(1) 中区制100周年記念事業実行委員会

- ア 中区制100周年記念事業実行委員会で、「総務部会、広報・企画・GREEN×EXPO 2027連携部会、事業部会」の3つの部会を中心に各種記念事業について検討を行いました。(全10回、総務部会4回、広報・企画・GREEN×EXPO 2027連携部会4回、事業部会2回)
- イ 中区制100周年記念事業のキャッチフレーズ及びロゴマークを作成し、区政100周年の機運醸成を進めました。(8年3月、キャッチフレーズ応募数145件)
- ウ 協賛案内用資料の制作を行いました。

(2) 機運醸成のための取組

- ア 区制100周年を多くの皆様に周知できるよう、PRポスターを作成しました。(7月)
- イ 中区民祭り「ハローよこはま2025」の機会等を捉え、機運醸成に繋がるイベントを実施し、多くの皆様に区制100周年を知っていただく機会を提供しました。

施策4 地域の活力があふれるまちづくり

11 GREEN×EXPO 2027に向けた脱炭素チャレンジ事業

区政推進課

★重点事業



本牧和田ケアプラザでの花植えイベント

R7年度予算

1,520千円

R7年度決算

1,394千円

横浜グリーンエクスポの開催とその先の脱炭素社会の実現に向け、区民が環境を意識するきっかけとなるような取組を実施しました。

また、環境を開催テーマの一つとするTICAD 9のプロモーションも合わせて実施しました。

(1) 生ごみコンポスト化事業

家庭等でたい肥づくりができるバッグ型コンポストを用いて、イベント等を実施しました。

ア 区民向け

- ・ バッグ型コンポストの配布及び講座の実施（7月～10月 24名参加）
- ・ 完成したたい肥を使い、横浜公園で球根植付けイベントを実施（11月8日）

イ 小学校向け

- ・ 間門小学校・山元小学校で、給食の残渣等を活用したたい肥づくりを実施
- ・ 間門小学校の児童が、完成したたい肥を使って本牧和田ケアプラザで花植えを行い、地域との交流イベントを実施（8年2月20日）

(2) 民間事業者等と連携した脱炭素啓発

脱炭素・環境につながるテーマやTICAD 9の機運醸成に資するテーマを題材とした主に中学生向けの啓発講座を、民間事業者等と連携し、実施しました（3回実施、保護者・児童含め計80名参加）。

(3) 中区SDGsマルシェ

マルシェの開催（毎月）を通じ、エコバッグの推奨や地産地消等の身近な環境行動の啓発を行いました。また、Fry to Fly projectと連携して家庭の廃食用油を回収し、持続可能な航空燃料（SAF）に変える取組を実施しました（5回）。

(4) チューリップであふれるまち事業

自治会町内会等への球根配布（5,100個）を通じて、区の花チューリップの認知度向上及び横浜グリーンエクスポのプロモーションを実施しました。

施策5 区民目線で行動する区役所づくり

1 区役所サービス環境向上事業

★重点事業



7年度人権啓発講演会

R7年度予算

15,823千円

R7年度決算

19,612千円

区民に寄り添った行政サービスを提供し、区役所に対する区民満足度の向上を図るため、職員の接遇・区民サービス意識の向上に取り組みました。

また、来庁者の利便性向上を目的とした庁舎環境の改善や、業務の効率化につながる執務環境の整備を実施しました。

総務課

(1) 人権啓発事業

ア 区民を対象とした人権啓発講演会を開催（7年12月18日 開港記念会館）

イ 職員向け人権研修を実施（6月～8年3月／43回）

(2) 区役所満足度向上事業

ア 顕著な活動を行った区民を顕彰（2月24日 1団体）

イ 行政サービスに対する満足度向上のための職員向けCS向上研修（7年9月25日、10月7日）

ウ 利用者の利便性や安全性向上のための警備・案内業務の委託（通年）

エ 庁舎環境の改善（会議室の机と椅子の更新）を実施

(3) ワークモチベーション向上事業

課を超えた職員同士のタテ・ヨコ・ナナメの繋がりづくりを促進し、ワークモチベーション向上に資する、職員参加型プロジェクト(9プロジェクト)を実施

施策5 区民目線で行動する区役所づくり

2 広報・案内事業

区政推進課

R7年度予算
4,379千円
R7年度決算
3,830千円



日本大通りイチョウ通信（WEB・SNS）

様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげました。

また、区役所を訪れた方をスムーズに案内できるよう、総合案内窓口専任のスタッフを配置しました。

(1) 広報相談事業

行政や地域の情報を適切に提供するとともに、中区の魅力を高めていくため、ウェブページ・X（旧Twitter）及びLINE等により、区民に必要な情報を提供しました。

ア 区ウェブページでの区政情報発信

イ X（旧Twitter）及びLINEによるイベント情報等の発信

（Xフォロワー数9,046人 発信件数280件）

ウ 庁内職員のための広報研修（6月23日 17名参加）

(2) 総合案内運営事業

総合案内窓口専任のスタッフを配置するほか、行政情報を中心とした各種広報チラシを配架し、来庁者へ情報発信を行いました。

ア 1階総合案内に受付専任スタッフ（委託）を配置

（案内実績 48,854件）

イ 横浜市及び国・県等の各種広報チラシ配架

ウ 1階ロビーのデジタルサイネージによる動画及び画像の放映

（放映実績 68本）

議題 3

令和 8 年度中区個性ある区づくり推進費 自主企画事業執行状況

令和8年度 自主企画事業費一覧

(単位：千円)

NO.	事業名	8年度	7年度	増△減額	所管課	重点	頁
施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり							
1	地域防災力向上事業	9,200	8,999	201	総務課	★	9
2	安全なまち・防犯対策推進事業	2,364	2,364	0	地域振興課	★	10
3	交通安全啓発・放置自転車対策事業	2,221	2,341	△120	地域振興課		11
4	みらい環境育成事業	2,209	1,809	400	地域振興課	★	12
5	初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業	2,000	2,000	0	区政推進課		13
6	花・緑でまちの環境改善事業	800	500	300	中土木事務所		14
7	食と暮らしの安全・安心事業	987	1,238	△251	生活衛生課		15
8	動物適正飼育推進事業	460	717	△257	生活衛生課		16
小 計		20,241	19,968	273			

令和8年度 自主企画事業費一覧

(単位：千円)

NO.	事業名	8年度	7年度	増△減額	所管課	重点	頁
施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり							
1	中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！推進事業	1,560	5,910	△4,350	福祉保健課	★	17
2	みんなの健康づくり事業	2,855	3,475	△620	福祉保健課		18
3	高齢者はつらつ推進事業	1,762	2,064	△302	高齢・障害支援課	★	19
4	障害児・者ネットワーク支援事業	412	830	△418	高齢・障害支援課		20
5	みんなで子育て事業	2,216	3,862	△1,646	こども家庭支援課	★	21
6	みんなでサポート親子の笑顔事業	2,112	2,659	△547	こども家庭支援課		22
7	なかくっこ すくすくサポート推進事業	999	750	249	区政推進課 こども家庭支援課		23
8	未来へつなぐ区制100周年 こども・若者みらい共創事業	2,935	0	2,935	区政推進課 こども家庭支援課	★	24
9	スポーツ・青少年事業	5,150	3,340	1,810	地域振興課		25
10	区民活動支援事業	2,456	2,786	△330	地域振興課		26
	(インクルーシブスポーツ推進事業)	0	2,295	△2,295	地域振興課		
小 計		22,457	27,971	△5,514			

令和8年度 自主企画事業費一覧

(単位：千円)

NO.	事業名	8年度	7年度	増△減額	所管課	重点	頁
施策3 多文化共生のまちづくり							
1	多文化共生推進事業	5,409	5,409	0	区政推進課	★	27
2	多文化交流事業	8,066	8,243	△177	地域振興課		28
小 計		13,475	13,652	△177			
施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり							
1	まちづくり推進事業	3,428	3,258	170	区政推進課		29
2	自治会町内会活動支援事業	3,870	3,205	665	地域振興課	★	30
3	みんながつながる地域づくり事業	1,090	1,185	△95	地域振興課		31
4	商店街魅力アップ事業	2,300	3,425	△1,125	地域振興課		32
5	にぎわい・魅力アップ事業	3,742	4,830	△1,088	地域振興課		33
6	都市間交流事業	618	671	△53	総務課、区政推進課、 地域振興課		34
7	中区制100周年(2027)記念事業	6,790	2,000	4,790	総務課、区政推進課、 地域振興課	★	35
8	GREEN×EXPO 2027に向けた脱炭素チャレンジ事業	2,120	1,520	600	区政推進課	★	36
小 計		23,958	20,094	3,864			

令和8年度 自主企画事業費一覧

(単位：千円)

NO.	事業名	8年度	7年度	増△減額	所管課	重点	頁
<施策実現に向けた行政運営>							
1	区役所サービス環境向上事業	16,738	15,823	915	総務課		37
2	広報・案内事業	5,159	4,379	780	区政推進課		38
小 計		21,897	20,202	1,695			
合 計		102,028	101,887	141			

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

1 地域防災力向上事業

総務課

★重点事業



企業での防災講話

R8年度予算

9,200千円

R7年度予算

8,999千円

中区防災計画に基づき、中区の防災力を向上させるため、区民の防災意識の向上、将来的な地域防災の担い手の育成、区防災体制の整備・強化に取り組めます。

地震火災対策計画に基づく重点対策地域の自治会町内会等を対象にアドバイザーを派遣し、当該地域のリスクの洗い出しやその対策を支援する事業を新設します。また、外国籍の方の割合が他区に比べて高いことから、多言語対応啓発パンフレットの更新と動画の新規作成を実施します。

(1) 減災行動啓発事業 (4,544千円) 【拡充】

ア 地域、企業、各種団体等への減災支援

(ア) 防災講話・防災訓練支援等の実施

(イ) マンション防災アドバイザー派遣事業(6月募集開始 申込10回 年30回予定)

(ウ) 地震火災対策アドバイザー派遣事業(6月募集開始 申込1回 年9回予定)

【新規】

イ 防災啓発

(ア) マリンFMでの防災情報発信(月1回)

(イ) 多言語対応啓発パンフレットを更新し動画を作成(12月配信開始) 【新規】

(2) 災害時の担い手育成事業 (77千円)

学校向け防災出前教室・防災ウォークの実施(年15回)

(3) 防災訓練・災害対策事業 (4,579千円)

ア 各種訓練の実施

(ア) 産官民の協働による帰宅困難者対策訓練(12月)

(イ) 民間・区役所等の協働による情報受伝達訓練の実施(9年1月)

イ 地域防災拠点訓練の実施及び備蓄品の充実(総会:6月)

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

2 安全なまち・防犯対策推進事業

地域振興課

★重点事業

R8年度予算

2,364千円

R7年度予算

2,364千円



加賀町防犯キャンペーン

「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となり、高齢者の被害が後を絶たない振り込め詐欺の防止や、近年増加している強盗への対策など、地域の実情に応じた防犯の取組を推進します。

(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業（232千円）

中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援します。

ア 総会の開催（5月27日）

イ 防犯キャンペーンの実施（6月9日、10月）

ウ ハローよこはまへの出店（11月8日）

エ 4警察署、3防犯協会、防犯協力会と合同会議等（9月）

オ 地域自主防犯活動委員会の開催（地区連合防犯担当者・全5回）

(2) 中区地域防犯活動支援事業（1,705千円）

ア 実施内容：防犯活動費支援、防犯活動物品の貸与（4月～）、
新1年生への防犯ブザー配布（760個）等

イ 対象団体：地区連合町内会、防犯活動団体、市立小学校

ウ 各警察署から寄せられる犯罪情報等を「中区安全・安心メール」
として月2回程度配信します。

(3) 防犯教室・講座事業（427千円）

地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施します。

こども防犯教室（年10回程度）、寄席de防犯（年1回 9年2月）

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

3 交通安全啓発・放置自転車対策事業

地域振興課

R8年度予算

2,221千円

R7年度予算

2,341千円



小学生の「はまっ子交通安全教室」

区内で発生する高齢者や自転車の交通事故防止及び自転車・バイクの放置防止を推進するため、各警察署、各交通安全協会、地域の関係団体と連携したキャンペーン等の啓発活動に取り組めます。

(1) 交通安全啓発事業 (2,071千円)

ア 中区交通安全対策協議会への支援

イ 子どもの交通安全啓発

(ア) 小学生の交通安全教室開催（市立小学校9校、4月～11月）

(イ) 小学生向け「サイクルルールブック」等啓発パンフレット配布

(ウ) スクールゾーン対策の実施（6月～9年3月）

(エ) 中区交通安全こどもポスターコンクール開催（7月～12月）

(オ) 中学生の交通安全教室開催（市立中学校2校、6月※雨天中止、11月）

ウ 保護者向け交通ルール啓発リーフレット配布（4月～）

エ 地域と連携した高齢者等の交通安全啓発

オ 交通安全運動への協力

カ 団体への補助金交付（6月）

・各スクールゾーン対策協議会（10団体）、中区交通安全対策協議会

(2) 放置自転車対策事業 (150千円)

ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援

イ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び移動要望への対応

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

4 みらい環境育成事業

地域振興課

★重点事業



中区クリーンアップDAY!2026

R8年度予算

2,209千円

R7年度予算

1,809千円

一般廃棄物処理基本計画【ヨコハマプラ5.3計画】の目標である、「燃やすごみに含まれるプラスチックごみの量を2030年度までに2万トン削減」の達成に向け、区民・事業者・行政が協働し、削減に取り組みます。

区内外国人住民割合が約12.5%を超える状況を踏まえ、多言語資料や相談体制強化が必要なため、外国人向けの情報提供や新たに集積場所の多言語看板の作成等を実施していきます。

また、SDGsの達成に向け、食品ロスや海洋プラスチックごみの削減に取り組みます。

(1) ヨコハマプラ5.3計画推進活動（160千円）

ア イベント参加（年2回）、店頭啓発（6月13日）、分別相談窓口

イ 資源回収BOX、リユース文庫による減量化・資源化

ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業の実施（15団体）

エ フードドライブ活動の実施（通年）

(2) まちの美化対策事業（1,899千円）

ア 中区クリーンアップDAY！を実施（5月30日：約500名参加）

本牧クリーンアップDAY！を実施（9年1月）

イ 中華街クリーンアップを実施（年9回）・学校との連携（年5回）

ウ 不法投棄防止に係る啓発（随時）

エ 外国人向けの分別説明会を実施（2回：6月18日・23日）

オ まちの美化に取り組む自治会や団体等の活動支援（10団体）

カ 集積場所への多言語看板2種類作成（8月）【新規】

（1 英語・中国語、2 ネパール語・ベトナム語）

(3) 美化推進者表彰（150千円）

まちの美化推進及び3R行動の推進に功績があった個人・団体へ区長感謝状の贈呈（9年3月）

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

5 初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業

区政推進課

R8年度予算
2,000千円
R7年度予算
2,000千円



防犯パトロール

まちの再生に向けた地域の自主的なまちづくり活動を推進するため、関係局と連携して支援を行います。

中区では、初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会に、活動補助金の交付及びNPO法人黄金町エリアマネジメントセンターを通じた支援を行います。

協議会等への支援を通じて、アーティスト・学生等とも連携した子ども関連の取組や大岡川の桟橋の活用などのまちづくり活動の活性化を図り、魅力あるまちの形成を目指します。

(1) 環境浄化活動支援補助金（500千円）

ア 協議会定例会等の開催

（総会1回、定例会1回、役員会2回開催済）

イ 防犯啓発活動等の実施

（防犯パトロール月1回程度 3回実施済、水防訓練 7月18日、防災訓練 10月11日予定）

ウ 広報活動

（まちづくりニュースの発行年4回 1回発行済）

(2) 地域活動を支える運営組織の強化（1,500千円）

ア 協議会活動の企画、運営手法の検討支援

イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援

ウ 地域の子どもたちが参加できるまちづくり活動の企画調整

（打ち水イベント 8月1日約50名参加）

＜参考＞ 関係局の取組

- ・小規模店舗の借上、エリアマネジメント推進等（都市整備局）
- ・高架下スタジオ等を拠点とした創造性を生かしたまちづくり（にぎわいスポーツ文化局）

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

6 花・緑でまちの環境改善事業

中土木事務所

R8年度予算

800千円

R7年度予算

500千円



公園愛護会・保育園と行った花植え

自治会、公園愛護会など区民の皆様と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで違法駐輪や不法投棄等を防止するための環境整備を行います。また、脱炭素社会の形成、地球温暖化対策の普及啓発を目的とした、区内の小学校等への花緑のカーテンの設置、園芸講習会の開催を継続します。

さらに、横浜グリーンエクスポの機運醸成とPRを目的として、従来の種まきイベントを開催する保育園を拡大し、リレー形式で実施します。

(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策事業（750千円）

ア 花苗提供 3,000株

イ プランター設置・維持管理 9か所

本牧埠頭交番前、大和町、柏葉公園、

長者町（長者町5丁目交差点付近）、山手駅、開港広場公園、

竹之丸（竹之丸保育園付近）、鷺山公園、福富町西公園

ウ 花緑のカーテン設置 4か所 5～6月に設置済み

横浜訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所、中区役所

エ 種まきイベント（春・秋）7～8か所※春のイベント4～5月に開催済み

※秋のイベントは11～12月に開催予定

錦保育園、山手保育園、太陽の子 不動下保育園、

横濱中華幼保園、保育園ばんびーな、竹之丸保育園、うちゅう保育園やまて

(2) 普及啓発事業（50千円）

園芸講習会 年2回 参加予定者数各25人

9月 秋季園芸講習会

9年2月 冬季園芸講習会

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

7 食と暮らしの安全・安心事業

生活衛生課



飛鳥Ⅱキッズツアー

R8年度予算

987千円

R7年度予算

1,238千円

食中毒等の健康被害の予防及び拡大・再発防止を図り、区民の暮らしの安全・安心を確保するため、食品取扱施設、環境衛生関係施設等の生活衛生関係施設に対する監視指導や、事業者・消費者に対する衛生教育、情報発信を行います。

(1) 生活衛生関係施設の衛生確保支援事業（599千円）

ア 生活衛生関係施設の衛生対策を行います。

(ア) 中華街やホテル等に対し、清浄度を確認できる検査キットを活用した指導や、各種チラシを用いた啓発等によりHACCP※の導入を推進します。

(中華街一斉監視：5月～6月実施、約200件)

※HACCP:食品の安全を確保するための国際的な衛生管理手法

(イ) 大規模イベント等での食品提供について、食品の衛生的な取扱いを指導します（年350回）。

(ウ) 食肉を取り扱う飲食店等に対し、科学的根拠に基づく十分な加熱調理を行うよう周知・啓発を行います。

エ 高齢者や乳幼児等の健康リスクの高い方が利用する施設に対し、立入点検等でノロウイルスやレジオネラ等の感染症予防の啓発をします。

(2) 暮らしの安全に関する情報発信事業（388千円）

ア 感染症や衛生害虫対策に関する講習会を開催し、区民や自治会、事業者に向けて健康被害を予防するための注意喚起を行います。

エ 広報よこはまや庁舎内の広告モニター、パネル展などを利用し、幅広い年代の区民への啓発を行います。

ウ 消費者を対象とした食中毒予防キャンペーンを客船飛鳥Ⅱのキッズツアー（40組80名 8月16日）やハローよこはま（11月8日）で実施します。

施策1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

8 動物適正飼育推進事業

生活衛生課



災害時ペット対策の啓発

R8年度予算

460千円

R7年度予算

717千円

ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育に関する啓発を実施し、事故やトラブルの防止に取り組めます。

また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時ペット対策の啓発や取組支援、飼い主への日頃の準備等の啓発を実施します。

(1) 動物適正飼育啓発事業 (257千円)

ア 狂犬病予防注射出張会場において、中区獣医師会及び動物適正推進員と連携して、犬の飼い主への啓発を実施します。

(4月3日 新本牧公園 全日 109頭、4月7日 日ノ出川公園 半日 42頭

4月18日 根岸森林公園 全日 141頭 合計292頭)

イ ハローよこはま等のイベントに参加し、中区獣医師会等と連携して、来場者へ啓発を実施します(9月、11月、12月、9年2月)。

ウ 犬の放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携し、散歩中の飼い主に対する啓発、指導を実施します。

エ 区民が飼い主のいない猫対策として実施する地域猫活動の支援や機材の貸出しを行います。

(2) 災害時ペット対策推進事業 (203千円)

ア 地域防災拠点の拠点訓練等においてペット同行避難に関する啓発や同行避難訓練等の実施についての提案、支援をしています。

イ ペット同行避難の検討に既に取り組んでいる地域防災拠点のペット受入マニュアル等の成果物を参考に、ホームページ等での啓発、ペット避難所開設キットの配備を推進します。

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

1 中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！推進事業

福祉保健課

★重点事業



中なかいいネ！推進月間 パネル展

7年度に策定した第5期計画に基づき、誰もが安心して健やかに暮らせるまちを目指し、中区全体と各地区の特色を生かした取組を進めます。これまで計画に触れる機会のなかった区民にも計画を広めることに重点を置きます。

また、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザが連携し、庁内外の連携強化や地域のネットワークづくりを進め、地域主体の活動を支援します。多様な区民が参画し声を届けられる仕組みをつくり、対話と協働を通じて計画を推進します。

(1) 推進会議・人材育成 (352千円)

区域では、関係機関・団体および13地区の代表者で構成する「中なかいいネ！推進会議」を開催し、区計画を推進します。

地区別では、計画の目標や課題を共有し、各地区の状況に合わせた取組を進めます。また、地域支援に関わる職員向けの研修や日頃の情報共有を通じて地域支援のチーム力を高めます。さらに、区域と地区の取組を連動させ、事例共有や課題解決に向けた連携を強化します。

ア 中なかいいネ！推進会議（7月、9年3月）

イ 地区別推進会議（13地区ごとに開催）チーム会議（年延べ80回程度）

ウ 地域支援合同研修（5月）、地域支援従事者研修（7月、10月）

(2) 計画PR・魅力発信 (1,208千円)

関係団体との連携やイベント等を通じて、計画を広く周知・PRし、より多くの区民が取組を実感できるよう進めます。

ア 広報発信 広報よこはま掲載（別冊1回（4月）、コラム3回（7月、10月、9年1月）、デジタルサイネージ3か所（4月～）、タウンニュース掲載（5月）、マリンFM（7月）、SNS発信（4月～5回実施）バス広告（7月 本牧エリア）

イ イベント連携 ハローよこはま（11月）ほか

ウ 当事者の声を聴く取組 高校生（6月）、小学生（7月、8月）、中学生（11月）

エ 啓発物品作成 ミニのぼり旗、風船（7月）

オ 多言語版リーフレット・やさしい日本語版の発行・配布（10月 1,000部）

カ 中なかいいネ！発表会（9年2月）

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

2 みんなの健康づくり事業

福祉保健課



歯ぴか教室

R8年度予算

2,855千円

R7年度予算

3,475千円

生活習慣病予防の鍵となる「子育て・働き世代（成人・壮年期）」を対象に、専門職が対象者が集まる場に積極的に出向き、情報提供やアドバイスを行うことで、区民や区内在勤者が健康づくりを実践できる環境づくりを進めます。

また、区民意識調査で関心が高い防災分野の取組の一つとして、災害に備えた健康支援に関する情報提供を充実させます。

(1) 子育て家庭のヘルスアップ事業（923千円）

乳幼児健診等での健康チェック（年15回 25人／回）を継続し、歯ぴか教室（年9回 30人／回）については、会場の拡充や働く方が参加しやすい土曜開催を増やすなど、健康を見直すきっかけづくりを推進します。

(2) 働き世代のヘルスアップ事業（323千円）

ナイトウォーキングイベント（9月30名参加）や集客イベントでの出張講座・健康チェック（年5回 30名～200名／回）を継続します。企業向け出張健康講座（年5回 20名／回）を継続し、健康機器の貸出（10か所／年）については、使用方法を動画化して利便性を高めます。

(3) 災害に備えた健康づくり事業（814千円）

災害に備えたリーフレット（4,000部）を活用し、専門職が地域の健康づくり・子育て支援事業、各種健診やイベントなど、様々な場に出向いて講座形式で普及・啓発を図ります。また、SNSやデジタルサイネージを活用し、デジタル広報の充実を進めます。

(4) 食育推進事業（615千円）

食育イベント（10月 50名参加）や研修会（9月 1月 40名参加）を継続します。広報区版掲載50回目及び区制100周年を迎えることを記念して、ヘルスメイトの「しあわせの食育レシピ」の冊子（1,000部）を作成し、地域等にて活用します。

(5) 中区健康づくり月間事業（元気フェスタ21事業）（180千円）

ハローよこはま2026（11月）にて元気フェスタ21を開催し、健康チェック体験や生活習慣病予防等の情報発信を通して、健康づくり等の啓発を行います。

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

3 高齢者はつらつ推進事業

高齢・障害支援課

★重点事業



介護予防事業（体力測定会）

R8年度予算

1,762千円

R7年度予算

2,064千円

「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区アクションプラン」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、老人クラブ活動支援や地域での介護予防活動推進、認知症の人にやさしい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めます。

(1) 高齢者の地域交流促進（454千円）

老人クラブ連合会の各種行事を支援し、活動の充実と加入促進を図ることによる、高齢者の心身の健康保持を推進します。

ア 行事の補助・開催支援

グラウンドゴルフ大会（5月18日 58名参加、10月）、ノルディックウォーキング（5回）、老人福祉大会（9月）、ふれあい運動会（12月）等

イ イベント・窓口等でのPRチラシ等の配布

(2) 介護予防事業（300千円）

高齢者が自分の健康状態に関心を持ち、積極的にフレイル予防に取り組む機会を増やします。

ア 体力測定会（6月4日 38名参加、29日 22名参加、年5回 30名/回）

イ 姿勢改善講座（全6回講座 20名）

(3) 認知症支援事業（1,008千円）

認知症の理解を深め、「認知症の人にもやさしいまち中区」を実現するための相談支援や啓発活動の推進

ア 認知症高齢者等の介護者を対象とした個別相談の実施（年18回）

イ 認知症キャラバン・メイト活動支援（年2回 10名/回）

ウ 認知症体験型研修（7月8日 27名参加）

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

4 障害児・者ネットワーク支援事業

高齢・障害支援課

R8年度予算

412千円

R7年度予算

830千円



ポレポレグッズ（事業所自主製品）

障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、区内の医療・福祉・行政・地域団体などの関係機関が連携し、切れ目のない支援体制を整えます。生活の場で必要な相談やサービスが円滑に受けられる仕組みを構築し、地域全体で支え合う体制の整備を目指します。

(1) 関係機関連携推進事業（242千円）

相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される支援体制を充実させます。

ア 自立支援協議会の開催（事務局会議(毎月)、専門部会(45回程度)）

イ 支援者の支援力向上や連携強化を目的に研修会等の開催(5月28日 58名参加、9月・10月・11月予定)

(2) 障害理解・販路拡大推進事業（170千円）

障害者の社会参加及び障害理解の推進を図るため、ポレポレグッズ（障害福祉事業所の自主製品）の販売活動等の支援を行います。

ア 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会への運営費補助

イ 販路拡大委員会（隔月6回）

ナカナ・カフェ運営委員会の開催支援（4回）

ウ 区役所内定期販売会の支援（毎月）、中区SDGsマルシェ販売会の支援(毎月)

ほか各種行事等への出店調整

エ 横浜武道館等のイベントでの販売会支援（年5回）

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

5 みんなで子育て事業

★重点事業



ピースフルファミリー事業の様子

R8年度予算

2,216千円

R7年度予算

3,862千円

子育て中の方の育児不安や孤立感を軽減し、身近な地域で安心して子育てできるよう、地域全体で子育てのできる環境づくりに取り組みます。

社会状況の変化も踏まえ、父親も含めた子育て家庭全体への支援を進めるとともに、区内の子育て支援の資源を活用しながら、新たに居場所を作っていきます。

子育て世帯に必要な情報がよりわかりやすく届くような取組も拡充していきます。

こども家庭支援課

(1) ピースフルファミリー事業 (578千円)

親子のコミュニケーション及び家族間のコミュニケーションについて学ぶ講座を年2回実施します。(8月8日 60名参加、10月24日予定)

(2) おでかけスポットマップ (677千円) 【拡充】

地域の養育者の意見を踏まえ、体裁及び掲載内容を大幅に見直し、親子がお出かけをするきっかけとなる情報を発信します。(3,500部 10月配布)

(3) まちのこども応援ひろば事業 (397千円) 【新規】

大和町周辺で地域の方々と連携し、主に0～2歳の親子向けひろば事業を実施します。(5月～9月 年9回 6～10名/回) 夏休期間中に学齢期児童向けイベントを実施しました。(8月 年3回 10人程度/回) 周辺の地域活動団体による意見交換会も実施します。(7月～10月予定 年3回)

(4) 母子手帳用区制100周年ステッカーの配布 (185千円) 【新規】

相談先情報を記載した記念ステッカーを配布します。(1,000枚 7月～)

(5) 窓口対応用・多言語サポート資料の作成 (132千円) 【新規】

児童手当と母子健康手帳交付の窓口対応のため、英語・中国語・やさしい日本語の3言語で記入例等の補助資料を作成し、9月以降から使用を開始します。

(6) 保護者向け保育所等情報提供 (247千円)

保育申請の方法や保育所等の情報、様々な保育サービスを紹介する「中区保育所等のしおり」を作成し、配布します。(3,500部 10月～)

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

6 みんなでサポート親子の笑顔事業

こども家庭支援課



児童虐待防止啓発ちらし

R8年度予算

2,112千円

R7年度予算

2,659千円

安心して子育てできるよう地域の見守る力を高めます。また、子どもや保護者が相談しやすい環境を整え、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供します。

さらに、子どもの安心・安全な生活のため、子どもに関わる支援者の専門性向上に取り組みます。

子ども自身によるSOS発信や、周囲の人による不適切養育の早期把握ができるよう啓発します。

(1) 赤ちゃん学級 (446千円)

生後1歳までの子どもの養育者を対象に、子育ての仲間づくりや子育ての知識を得られる教室を身近な場所で開催します。(7月末現在 28回 計250名参加)

(2) 乳幼児健診の充実に関する事業 (451千円)

乳幼児健診に保育ボランティア等を配置します。(7月末現在 15回)

(3) 親子ヨガ教室 (368千円)

親子ヨガ教室を開催し、乳児との触れ合いを通して、養育者の育児不安を軽減し、孤立を予防します。(7月末現在 4回 計34名参加)

(4) 児童虐待対応力向上事業 (46千円)

区職員向けに外部講師による事例検討等の研修を実施し、区の特性を踏まえた虐待対応について、専門性の向上を図ります。(8月28日予定)

(5) 乳幼児期・学齢期家庭向け支援事業 (430千円)

児童虐待防止啓発物を乳幼児健診に来た保護者(2,250部 通年配布)や、区内の小学生(1～4年生)へ配布します(計4,927部 7月配布)。また、区内の公立保育園全3園を訪問し、幼児へ自身の気持ちの表出について啓発します。

(6) 子どもの自殺対策事業 (371千円) 【新規】

関係機関の職員等を対象に外部講師による研修を開催し、子どもの生きづらさと自傷行為に対応する知識や技術の向上を図りました。(7月30日 102名参加)

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

7 なかくっこ すくすくサポート推進事業

区政推進課・こども家庭支援課

R8年度予算
999千円
R7年度予算
750千円



なかくっこ 自由研究大作戦2026

人口に占める転入者の割合が9.6%と高く、地域に根差して深く関わるきっかけづくりが必要となっています。子どもとその家族が地域との関わり合いを深めることで、地域が子育ての受け皿となり、地域と子どもをつなげる取組を区全体で推進します。

(1) なかくっこ自由研究大作戦 (525千円)

民間事業者等と連携し、小学生を対象とした体験型イベントや講座を「なかくっこ自由研究大作戦2026」としてリーフレットにまとめ、区内の小学校や公共施設等を通じて周知しました。今年度は、警察やホテル等の新たなジャンルを加えた24題材（昨年度23題材）にて、子どもたちが学び、体験できる機会を提供しました（7月、8月）。

(2) 子ども・子育て支援ネットワーク推進事業 (474千円)

子どもとその家族が地域との関わり合いを深め、地域のつながりで安心して子育てができるまちづくりを目指した取組を進めます。

ア 子育て支援ネットワーク連絡会（代表者会議 年3～4回程度）

ネットワーク連絡会にて外部有識者のアドバイスを受けて地域で取り組む課題、区域で取り組む課題等を整理していきます。

イ 子育てワイワイトーク（2地区）

子育て当事者からの意見を聞く機会を設け、それらの声を子育て支援ネットワーク連絡会や子育て支援事業に反映していきます。

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

8 未来へつなぐ区制100周年 こども・若者みらい共創事業【新規】 こども家庭支援課・区政推進課

★重点事業

R8年度予算

2,935千円

R7年度予算

0円



地域とつながり、未来をつくる学びの場

中区制100周年を契機に次世代を担うこども・若者たちが地域に関わり、まちの未来を「自分ごと」として捉える機会を創出します。

彼らを「未来づくりのパートナー」と位置づけ、行政や地域とともに「共創」モデルを実践します。

地域の多様な資源を活かしつつ、区政や地域にこども・若者の視点を活かす仕組みを創出します。

具体的には、小学生から大学生まで幅広い世代が主体的に参加する2つの企画を実施します。

(1) キミの五感で中区の味をつくろうプロジェクト(873千円)【新規】

ア 小・中学生が「食」を切り口に中区の魅力を探究・再発見します。

イ 株式会社ありあけ及びフォーディータッチ合同会社(Oh!huggy!!横濱元町店)と連携協定を締結し、中区制100周年を記念した商品を企画・開発します。

ウ 「消費者」から「創造者」へ視点を転換し、創造力や探究心を育みます。

エ 企業との意見交換で体験から得る実践知を習得し、商品やストーリーを地域に届ける経験から地域への愛着を深めます。

オ 参加者30人。10月～11月募集、9年1月～3月にワークショップを計2回程度実施。(開発商品は、区制100周年に合わせ発表予定)

(2) NAKA-KU「まちの未来づくり」デザイン&実践事業(2,062千円)【新規】

ア 高校生・大学生を「未来づくりのパートナー」として、区政や地域に関わる当事者と位置づけます。

イ 「つながり」「環境」「にぎわい」「多文化共生」などのテーマを想定し、グループに分かれて地域の現場に入り、地域課題を探究します。

ウ フィールドワークやワークショップを通じて、地域や関係者に関わりながら、課題に対する取組や行動のアイデアを具体化します。

エ 若者が地域と関わるきっかけをつくり、区制100周年を機に、次年度以降の地域での主体的な活動につながる土壌を育みます。

オ 6月～7月募集、参加申込者24名。8月～11月に月1回程度活動を行い、活動の成果や提案について区長との意見交換会を実施します。

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

9 スポーツ・青少年事業

地域振興課

R8年度予算

5,150千円

R7年度予算

3,340千円

(5,635千円)

()はインクルーシブスポーツ
推進事業との統合額



中区民祭りのスポーツ体験コーナー

地域のスポーツ振興や健康づくり、青少年の健全育成に寄与するため、スポーツ・青少年関連団体や、中区を拠点に活動するプロスポーツチーム等と連携した事業を展開し、元気な地域づくりを実現します。

また、障害の有無や年齢、国籍等を問わず誰もが一緒に楽しむことができる「インクルーシブスポーツ」を推進することによって、区民の交流促進と互いに人格や個性を尊重し多様なあり方を認め合う共生社会の実現を目指します。

(1) 区民スポーツ促進事業 (1,040千円)

区スポーツ協会への事業費補助ほか活動支援、横浜マラソンに向けたランニングクリニック（4月5日、12日、計33名参加）、ラジオ体操指導者講習会の開催（7月4日 19名参加）

(2) プロスポーツチーム等との連携事業 (1,307千円)

プロスポーツチーム等と連携し、スポーツに親しみ、運動意欲を高める事業を実施（中区民祭りにおけるスポーツ体験コーナー（11月8日）、中区ラグビー教室（9年2月）、学校への出前授業等）

(3) 青少年育成事業 (618千円)

地域の団体・企業と連携し、青少年の交流促進や体験イベントを実施（中区ダンスフェスティバル（7月19日）、なかくっ子フェスティバル（9年2月7日）、小学生フットサル大会（9年1月、3月）等）

(4) 中区文明開化ウォークラリー (580千円)

街並再発見と健康づくりを目的に、青少年指導員・スポーツ推進委員と協働し区内を巡るウォークラリーを開催（5月31日、79組227名参加）

(5) インクルーシブスポーツ推進事業 (1,605千円)

インクルーシブスポーツ体験会（5月31日、300名参加）、区内イベントにおける体験ブース（ポレポレまつり（10月）、中区民祭り（11月8日））、ボッチャ交流大会開催によるインクルーシブスポーツの魅力発信（9年3月）

施策2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

10 区民活動支援事業

地域振興課

R8年度予算

2,456千円

R7年度予算

2,786千円



なか区民活動センター祭りステージ発表

なか区民活動センター運営を通じて、地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指し、区民主体の地域活動や生涯学習を支援します。

地域のボランティア人材の活躍支援や、区民が企画する講座の実施支援など、地域で活動する人材の発掘及び育成を推進します。

また、中区読書活動推進目標に基づき地域の施設や団体、民間事業者等と協働して区全体で読書活動を推進します。

(1) 区民活動支援事業(1,969千円)

ア 活動団体・区民利用施設と連携した人材育成・市民活動支援事業

(ア) 活動団体や街の先生※の作品展・ワークショップ(5月 フラワー&グリーンフェスタ、1,022名) ※街の先生：個人や団体の知識や技術を地域に活かすボランティア

(イ) なか区民活動センター祭り(11月)

(ウ) 活動団体・区民利用施設との連携講座(各年4回)、活動団体の課題解決に向けた支援講座(年1回)

イ 情報提供・発信事業

(ア) 情報誌の発行(隔月)、活動団体の紹介ガイドの発行(9年3月)

(イ) 区民利用施設等のチラシを一括発送する広報支援(月2回)

(2) 生涯学習事業(220千円)

ア 地域で活躍できる担い手育成の講座(年4回)

イ 区民企画による街歩き講座(年3回/企画会議を含む)

(3) 読書活動推進事業(267千円)

ア 施設・団体等と連携実施「なか区ブックフェスタ」(10月～12月)

イ 読書啓発イベント「本活コミュニケーション」開催(9年2月11日)

<参考> なか国際交流ラウンジでの電子書籍閲覧サービス提供(常時)

施策3 多文化共生のまちづくり

1 多文化共生推進事業

★重点事業

R8年度予算
5,409千円
R7年度予算
5,409千円



第3期中区多文化共生推進アクションプラン

国籍やルーツによらず誰もが地域の一員として、安心して自分らしく暮らせるまちを目指し、8年度から新たにスタートした「第3期中区多文化共生推進アクションプラン」のもと、関係機関等と連携し、多文化共生施策を推進します。

8年度は自治会町内会向けの多文化共生ハンドブックを新たに作成します。また、外国人住民への対応が多い部署に、行政単語等の定型文登録や、庁外への持ち出しができる機械通訳機器を新たに設置します。

区政推進課

(1) 中区多文化共生推進アクションプラン推進事業 (772千円)

ア 区民向け「やさしい日本語」の啓発（4月～各種イベントや大学へのPR（「やさしい日本語」クリアファイル配布）、9年3月講座実施）

イ 自治会町内会向けの多文化共生ハンドブックの作成【新規】
（9月頃までインタビュー等実施、9年3月配布開始）

(2) 多言語広報紙発行事業 (2,997千円)

中区在住の外国人住民に役立つ生活情報や行政情報等を掲載した広報紙を、英語、中国語、日本語で発行します。

（年4回 英・中：約4,000部/回 日：約1,000部/回）

(3) 多言語ホームページ運営事業 (440千円)

広報よこはま掲載情報や生活情報等を、英語、中国語、ハングル、やさしい日本語で発信します。（月1～2回）

(4) 庁内翻訳機器整備事業 (1,200千円) 【新規】

来庁する外国人住民への対応力向上のため、行政用語の翻訳も可能なAI翻訳機器を新たに5台設置し、7月から運用を開始しました。

施策3 多文化共生のまちづくり

2 多文化交流事業

地域振興課

R8年度予算

8,066千円

R7年度予算

8,243千円



第13回多文化フェスタ

なか国際交流ラウンジを拠点に、地域の活動団体や学校、関係機関等との連携を図り、外国人住民への生活情報の提供、日本語学習支援、地域参加への促進、外国人人材の育成を通じて多文化共生の地域づくりを進めます。

(1) 地域との連携・多文化共生ボランティア等の人材育成

ア 地域連携コーディネーターによる地域の会議への参加（10回）

イ 中学生対象の学習支援（39回）・外国につながる若者の居場所「Rainbowスペース」での交流や表現活動（41回）など若者自らの企画運営を支援

ウ 日本語教室修了者等外国人人材の活躍に向けた支援（月1回）【新規】

エ 多文化共生ボランティア養成講座（8回）

オ ボランティア日本語教室連絡会（2回）

(2) 日本語学習支援事業

ア はじめて教室：来日間もない方向け（各期10回×6期）

イ 定期教室：入門・初級レベルの方向け（各期30回×2期）

(3) 多文化共生推進事業

ア 多文化理解講座等の実施（3回）

イ 多文化フェスタの開催（12月）

(4) 多文化共生ボランティア活用事業

町内会のイベント等にボランティアを派遣し、通訳やチラシ翻訳等を実施

(5) 区が発信するチラシ・案内等の翻訳の実施

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

1 まちづくり推進事業

区政推進課



れきけんカード

R8年度予算

3,428千円

R7年度予算

3,258千円

区民等のまちづくり活動を支援し、様々な地域資源を活用することで、区民の地域への愛着を育み、さらなるまちづくり活動へつなげます。

また、公共空間を活用した実証実験を通じて、地域が主体となったまちづくりの枠組み等の検証を進めます。

区制100周年に向けて、区内のさらなる回遊機会創出、景観意識の向上、区民の地域への愛着を育むため、れきけんカードを作成・配布します。

(1) 地域まちづくり活性化事業 (1,143千円)

ア 8年度も引き続き歩道拡幅後の大岡川右岸における地域主体のまちづくりの検討等を進めます。

イ 各まちづくり団体の定例会への出席などにより、ルール・プラン 策定や策定後の運用、防災まちづくり活動等を支援します。

(ア) 定例会出席等による支援 (全10団体 各地区月1回程度)

(イ) まちづくり活動の普及啓発 (自治会・町内会等を対象とした防災講座 11月予定)

(2) 歴史的建造物等活用事業 (2,265千円)

区制100周年に向け、7年度から継続して、幅広い世代を対象に、中区固有の魅力資源である歴史的建造物等をより深く、よりわかりやすく伝える「れきけんカード」を作成します。各施設でのカード配布を通じて、ファン（来街者）と地域とのつながりを深め、訪れた人がまちを回遊することによる賑わい創出等を図ります。

(第1弾 各施設2,000枚増刷済、

第2弾 全10施設選定済 各施設2,000枚12月発行予定)

(3) よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図活用事業 (20千円)

「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」を活用したイベントを企画します。(対象者20名程度 下半期に1回実施)

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

2 自治会町内会活動支援事業

地域振興課

★重点事業

R8年度予算

3,870千円

R7年度予算

3,205千円



埋地ミニ夏祭り

市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携・協力関係を深めます。

自治会町内会の各種活動に対する支援や加入促進事業等を行うことで、自治会町内会の安定的な運営に寄与します。

また、8年度から新たに自治会町内会のデジタル化伴走支援を行います。

(1) 自治会町内会加入促進（1,856千円）【拡充】

自治会町内会の取組をより一層周知するための「SNSによる情報発信」や、町内会活動の負担軽減のための「会費の電子決済」など、町内会のデジタル化を支援する事業を新たに行い、加入促進に繋がります。

また、引き続き新規建築マンションや自治会町内会未加入マンションの管理組合に働きかけるなど、新たな自治会町内会設立・加入への動きを支援します。

ア 中区自治会町内会デジタル化伴走支援事業

（6月～2月 募集团体10団体 支援は3回まで/団体）

イ 自治会町内会実務研修会 （4月8日、18日開催 計69名参加）

(2) 町内会掲示板整備補助事業（1,000千円）

地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助します。また、新たに電子掲示板を補助の対象とします。（7月末現在 10団体申請）

(3) 自治会町内会感謝会（1,014千円）

市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表するため、感謝会を開催します。（9年3月開催）

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

3 みんながつながる地域づくり事業

地域振興課

R8年度予算

1,090千円

R7年度予算

1,185千円



補助金を活用した自転車教室（第6地区連合）

自治会町内会をはじめとする地域の多様な主体が連携・協働して取り組む、地域課題の解決や地域の魅力の創出、多世代・多文化交流の促進等の活動を支援することで、地域活動の活性化、区民の地域参加の促進、地域活動を支える人材の発掘・育成を推進します。

地域と区民活動センター・国際交流ラウンジとの連携を強化し地域を支援します。

(1) 地域活性化とまちの賑わいづくり支援事業（985千円）

地域活動の継続・発展を支援するため、自治会町内会等が実施する事業に対して補助金を交付します。

また、地域活動への参加促進や活動を支える人材の発掘・育成を目的として区民向け講座を実施します。

さらに、地域で行われているさまざまな取組を取材し、情報紙「Lale（ラーレ）」を通じて広く周知します。

ア みんながつながる地域づくり補助金 ※新規募集は今年度で終了

- ・ 地域の賑わい、つながりづくりのための補助金を交付
- ・ 補助率：対象経費の9割
（上限額：1年目10万円、2年目5万円、3年目3万円）
- ・ 4月募集に新規2件、継続7件の申込みがあり、6月の審査会で交付決定
- ・ 新規枠に残りがあるため、7月に再募集を実施

イ 担い手発掘・育成講座

ウ 地域活動情報紙 Lale（ラーレ）の発行（年10回程度）

(2) 地域運営力向上サポート事業（105千円）

地域の課題や、魅力づくりをテーマとした勉強会や講座に対して、講師等の選定・謝金の助成などの支援を行ないます。

（「地域づくりアドバイザー等派遣事業」として4月募集開始）

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

4 商店街魅力アップ事業

地域振興課

R8年度予算

2,300千円

R7年度予算

3,425千円



マリナードスタジオでの放送

地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題としてとらえ、商店街活性化に向けた支援を行います。

商店街広報活動事業（2,300千円）

地域と密着した地元メディア（FM放送局、地域情報紙）を活用して商店街の魅力やイベント情報等を発信し、地域での消費促進に向けた広報を行います。

- ・地元コミュニティFMによる商店街PR番組「ただいま商店街！」を実施（年20回程度 6月～9年3月）

<参考> 経済局区配付予算

商店街活性化イベント補助金：商店街等の活性化イベントに対して、1団体25万円を上限に補助を行います。

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

5 にぎわい・魅力アップ事業

地域振興課



中区って『イイネ!』フォトコンテスト2026
作品募集中!



フォットコンテスト募集HP

R8年度予算

3,742千円

R7年度予算

4,830千円

中区民の交流と調和による地域連帯の醸成を目的に、中区民祭り「ハローよこはま2026」を開催します。また、地域への愛着や誇り、ふるさと意識の醸成を図ることを目的に「中区って『イイネ!』フォトコンテスト」を実施します。

(1) 中区民祭り「ハローよこはま2026」(2,925千円)

開催にあたっては、区内在住者・在勤者・在学者が広く自主的に参加できるイベントとすることで、区内の様々な団体・関係者の連携強化を図ります。また、中区制100周年及び横浜グリーンエクスポに向けた機運醸成にも取り組むなど中区の魅力や活力を広く発信します。さらに、区内外の様々な企業・団体とも連携し、区外からの来街者も楽しめる賑わいあるイベントとします。

ア 開催日程：11月8日

イ 会場：象の鼻パーク

(2) 中区って『イイネ!』フォトコンテスト(817千円)

観光マップでは見ることができない、「私のまちにある」「わたしのまちから見える」行事や風景、人物（地域活動の様子）など、中区の魅力を捉えた写真を募集します。

入賞作品の選考は、プロカメラマンによる一次選考と区民投票による二次選考を行います。二次選考は、中区民祭り「ハローよこはま2026」において、作品を展示し区民投票を実施するほか、電子申請システムによる投票も受け付けます。さらに、市庁舎等で入賞作品を展示し、中区の魅力を積極的にPRします。

ア 応募期間：6月8日～10月1日

イ 応募資格：中区にお住まいの方、お勤めの方、通学している方、愛着のある方

ウ 応募部門：小学生以下部門、一般部門

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

6 都市間交流事業

区政推進課・総務課・地域振興課

R8年度予算

618千円

R7年度予算

671千円



ハローよこはまブース出展

他都市と交流を進め、中区の魅力を発信します。

横浜グリーンエキスポをはじめ、横浜のシティプロモーションの推進等を図るとともに、中区の魅力の再発見やふるさと意識の醸成につなげます。

(1) 埼玉県飯能市

平成25年3月に飯能市との間で鉄道相互直通運転が開始されたことを契機に、平成26年3月に友好交流協定を締結しました。官民一体となり、両都市で行われる地域イベントへの参加及び広報紙やSNS等を通じた相互PRに取り組みます。

ア 飯能まつりでの横浜グリーンエキスポPR（7月19日）

イ 飯能市立図書館での連携展示（8～9月）

ウ 中区民祭りにてブース出展（11月）

エ 協議会（5月28日実施済、9月、9年1月）、代表者会議（9年2月頃）

(2) 群馬県嬬恋村

嬬恋村出身で横浜開港期に活躍した中居屋重兵衛氏の顕彰を契機に、平成28年2月に友好交流協定を締結しました。両都市で開催される地域イベントへの参加等を通じて、相互PRに取り組みます。

ア 「ハローよこはま」にて嬬恋村関連のブース出展（11月）

イ 嬬恋村が開催するイベント等への参加

※その他の交流 沖縄県宜野湾市、山形県米沢市

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

7 中区制100周年(2027)記念事業

総務課・区政推進課・地域振興課・土木事務所

★重点事業



区役所に掲出している横断幕

R8年度予算

6,790千円

R7年度予算

2,000千円

令和9年の区制100周年に向け、令和7年3月に「中区制100周年記念事業実行委員会」を設立しました。区民の皆様と中区の価値を改めて確認し、地域愛を醸成し、さらに中区をPRし、持続的なまちづくりにつなげていきます。区を挙げた庁内外への機運醸成を図るため、記念行事等の実施、広報・プロモーション活動、関係イベント等の事業検討を行います。

また、同年開催される横浜グリーンエキスポとも連携しながら進めます。

(1) 実行委員会の開催

実行委員会の3つの部会を中心に検討が進められています。「広報・企画・GREEN×EXPO2027連携部会」が6月30日、「事業部会」は8月17日に開催され、「総務部会」は9月18日に開催される予定です。また中区制100周年記念事業実行委員会総会が10月1日に開催される予定です。

(2) 広報・PRの促進

キャッチフレーズやロゴマーク等を活用しながら、各種広報・プロモーションが展開されています。横断幕・のぼり旗を作成し、7月から順次掲出を始めたほか、10月頃から、新たなポスターの掲出、啓発グッズの配布等を進めます。また、区制100周年を記念するPR動画を作成し、9年1月頃から配信します。

(3) 主な事業の企画・実施

中区民祭り「ハローよこはま2026」のブース増設やゲート設置により、区制100周年をさらに盛り上げていきます。区民により構成された団体等と地域による「連携事業(10件)」が進められます。また、区民等が主体となる「区民提案事業(申請9件/交付7件)」が選定され、各種事業が進められていきます。

(4) デザインマンホール事業

区制100周年を記念し、区独自のデザインマンホールを作成します(令和9年度設置予定)。区制100周年をPRし、地域への関心と交流を促進します。

施策4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

8 GREEN×EXPO 2027に向けた脱炭素チャレンジ事業

区政推進課

★重点事業

R8年度予算

2,120千円

R7年度予算

1,520千円



小学校でのコンポスト授業の様子

横浜グリーンエキスポの開催とその先の脱炭素社会の実現に向け、区民の行動変容を促す取組を実施するとともに、横浜グリーンエキスポのPRを図ります。

8年度は小学校と連携した脱炭素啓発に取り組み、区内全校との連携を目指します。

また、来街者の多く訪れる区内公園に花壇設置を行い、幅広い機運醸成にも取り組みます。

(1) 生ごみコンポスト化事業（500千円）

区民向けにバッグ型コンポストを配布及び講座を実施し、各家庭でたい肥づくりに取り組んでいます（6月～10月 30名参加）。また、横浜公園で開催される横浜グリーンエキスポ連携イベントにおいて、完成したたい肥を活用した球根植え付けを行います（11月）。

(2) 小学校と連携した脱炭素啓発（200千円）【新規】

脱炭素社会の実現に向け、児童への環境教育と地域への普及啓発に取り組みます。区内すべての市立小学校の総合学習などと連携しながら進めます。

6月～9月に脱炭素に関する授業を実施し、その後地域等と連携した取組につなげます。また、11月に市庁舎アトリウムにて、各取組の発表会を開催します。

(3) GREEN×EXPO 2027・区制100周年花壇設置（600千円）【新規】

来街者の多く訪れる区内公園を1か所選定し、横浜グリーンエキスポ及び中区制100周年の機運醸成を目的とした花壇を設置します（秋頃）。

(4) 中区SDGs マルシェ（400千円）

毎月1回、横浜野菜を販売するマルシェを開催し、地産地消を推進します。廃食用油の定期回収（SAFへの変換）も合わせて実施します。

(5) チューリップであふれるまち事業（420千円）

自治会町内会等へ球根の配布を行い、区の花チューリップの認知度向上及び横浜グリーンエキスポのプロモーションを図ります。（10月）

<施策実現に向けた行政運営>

1 区役所サービス環境向上事業

総務課



7年度区民活動顕彰者 ドルフィン・スターズ

R8年度予算

16,738千円

R7年度予算

15,823千円

区民に寄り添った行政サービスを提供することにより、区役所への区民満足度向上を目指します。

そのため、地域の総合行政機関である区役所が、業務を円滑に実施していくことが必要であり、その取組として、職員の区民サービスへの意識向上を図ります。

また、来庁者にとってより利用しやすい庁舎となるよう環境改善を進めるとともに職員の執務環境の向上を進めます。

(1) 人権啓発事業 (325千円)

- ア 区民を対象とした人権啓発講演会を開催（年1回）
- イ 職員向け人権研修を実施（6月～9年3月／40回程度）

(2) 区役所満足度向上事業 (14,225千円)

- ア 顕著な活動を行った区民を顕彰
- イ 行政サービスに対する満足度向上のための職員向けCS向上研修の実施（9月～10月年1回）
- ウ 利用者の利便性や安全性向上のための警備・案内業務の委託（通年）

(3) ワークモチベーション向上事業 (2,188千円)

- ア セキュリティ面等安全性確保のため、8年度末にサポートが終了する共用パソコンを更新（9年2月8台）
- イ 改革推進委員会により、職員主体のアイデアを取り入れた活動を企画・実施するとともに、課を超えた職員の繋がりづくりを促進

<施策実現に向けた行政運営>

2 広報・案内事業

区政推進課

R8年度予算
5,159千円
R7年度予算
4,379千円



区民生活マップ

様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげていきます。

また、区役所を訪れた方をスムーズに案内できるよう、総合案内窓口業務に専任のスタッフを配置します。

(1) 区政情報の発信等

行政や地域の情報を適切に提供するとともに、中区の魅力を高めていくため、ウェブページ・X（旧Twitter）及びLINE等により、区民に必要な情報を提供していきます。

ア 区ウェブページでの区政情報発信

イ X（旧Twitter）及びLINEによるイベント情報等の発信

（Xフォロワー数9,203人 発信件数94件 7月末）

ウ 庁内職員のための広報研修（10月）

エ 区民生活マップの作成（更新）

(2) 区役所総合案内の運営

総合案内窓口専任のスタッフを配置するほか、行政情報を中心とした各種広報チラシを配架し、来庁者へ情報発信を行います。

ア 1階総合案内に受付専任スタッフ（委託）を配置

（案内実績 18,778件 7月末）

イ 横浜市及び国・県等の各種広報チラシ配架

ウ 1階ロビー等のデジタルサイネージによる動画及び画像の放映

（放映実績 36本 7月末）

議題4 令和9年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方(案)

令和9年度予算編成にあたっては、「横浜市中期計画2026～2029」の内容を基本としながら、中区の特性や課題を改めて洗い出し、区民の皆様からの声を踏まえながら事業の検討を行っています。

防犯や防災、子育て支援、多文化共生、まちや人の元気づくりなどをはじめとした、区民の皆様の安心・安全な生活を支える施策にしっかりと取り組むと共に、令和9年に迎える「横浜グリーンエキスポ」及び「中区制 100 周年」に向けて、地域の皆様や関係団体の皆様と連携し、まちのにぎわいと活力の創出により一層取り組み、横浜の持続的な成長・発展につなげていきます。

議題 5 その他